臺灣日日新報 昭和十四年九月九日（土曜日） 第一万四千二百四十三號 A（一）

臺灣昌新報（夕刊）（第二版）（明治卅一年五月九日第三種郵便物認可）
十一月八日
夕刊特定一部一錢
編輯兼發行人 佐々木 寧
發行所 臺北市台町四丁目廿二番地 臺灣日日新報社
基隆市旭町一丁目七八番地 基隆支局
臺中市榮町一丁目一〇七番地 臺中支局
臺南市錦町一丁目一〇番地 臺南支局
花蓮港街入船町 花蓮港支局
大阪市西區阿波座上通一丁目 大阪支局
（電話）東京市芝區櫻田本郷町一番地 東京支局

閑院參謀總長宮殿下 支那派遣軍を御視察至大 將兵一同の感激至大

【東京八日發同盟】大本營陸軍部發表　閑院參謀總長宮殿下には支那派遣軍御視察のため去る十月二十九日より約十日間中支方面に御出張中なりしところ到る所に於いて親しく支那派遣軍御將兵の奮戰振りに御接遇はさることながら敵の退却に伴ひ新たに占領せられたる地點又は敵の退却に伴ひ新たに占領せられたる地點に於いても親しく將兵の勞苦を御視察せられ又將兵一同の感激は實に大なるものありたり、將兵一同の感激は實に大なるものありたり、將兵一同の感激は實に大なるものありたり、

眞に武人の龜鑑

ノモンハン戰で華と散つた梅田少佐

敵の重圍に壯烈な最期

【新京七日發本社特電】今次ノモンハン事件は近代科学の粋を蒐し、たゞ敵の大量を逐へ撃滅するに於ける軍の威力を發揮し、皇軍精鋭の眞価を發揮した輝かしい戰果の裏面には、敵ながら感嘆に値する敵軍の勇戰敢闘があつたが中にも吾に數倍する敵軍の重圍に陷りながら最後の一發まで撃ち盡し挨拶ぐ○○隊陣地を死守した梅田第二歩兵聯隊の如きは眞に武人の最期と言ふべきであらう、第一次、第二次第三次の國境事件でおのおのめざましい戰果は最後の勝敗を決し、八月十九日突如として草原の皇軍第一線に襲ひ來つた敵の大軍は、優勢なる機械化部隊を先頭に立てゝ我が軍の中央部を突破し、一擧に我が軍の後方に出でんとし、その一部は我が軍の左翼を迂回して我が軍の後方に出でんとした、梅田部隊は、この敵の企圖を看破し、敵の先頭部隊を邀撃するや、敵は我が軍の後方に出でんとする企圖を放棄し、我が軍の正面に對し、全力を擧げて攻撃し來つた、梅田部隊は、この敵の攻撃に對し、陣地を死守し、敵の攻撃を撃退すること數回に及んだ、しかも敵は、その後方に大部隊を迂回せしめ、二十日拂曉突如○○隊陣地右翼に迫つた、梅田部隊は、この敵の攻撃に對しても

家庭と婦人

近視の激増と對應策

（下）

中村文平博士の調査

近視と近業

そこで、かういふことが考へられます、第一に視線が短かいために、眼球の後部が引張られて、眼球が伸びて近視になる、また、始めは近いところを見てゐると、調節が起つてそのために眼が固くなつて近視になる、或は近い所を見て兩方の眼を輻湊させておくと、眼に惡い影響を與へて近視になる、或は近い所を續けて見てゐるために近視が起る、或は始めうつ向いて見てゐるために眼の重力で眼が伸びて近視になる、かういふ點が學山の近視の説がありますけれど、これは近業が原因で、それから來るもので、近視と近業とは關係があると考へられます

遺傳と素質

それから角膜を性質として角膜に1個が起り、そのために近視が起るもの、或は一般に體の弱いもの、その他即ち元に述べた諸原因もありませうけれど、これらは相當力なものとおもはれます、また、近視のあるものは、遺傳に依つて起るといふことも、認められて居ります、また、近視をそのまま遺傳しないまでも、さうした體質のあるものは、これに前表のやうな各種の原因が結びついて、ここに近視となることも考へられるのであります

豫防の概念

結局、近視豫防の具體的方法としては

(1)1個(2)兩眼近い處で書物などを見ない(3)近子の改良のこと

(4)紙質、印字改良、(5)ノートの改良、(6)屋外運動、(7)休養、(8)榮養の依頼、(9)學校當局、學期試驗期に於ける諸注意等が擧げられます

文部省と視力保護

文部省體育課では、近視の原因の一たる文字の大さに關する調査を行つてゐたが、最近に至り左の如き發表された

×　×　×

その中低學年に關する教科書一年から三年までの國定教科書に用ひた文字の大さを擧げて見よう

×　×　×

寫眞の寫され方

（上）

松田盛太郎

結婚寫眞

私がハリウッドで仕事をしてゐたときのことですが——

ある夜、ビバリヒルの豪壯なお屋敷からかれこのお呼び出しに急行したことがありました、とにかく、結婚式後の寫眞を……といふのですから、相當緊張した氣持で、その邸にのぞみましたが、案内の新郎は花と燭光とで飾られた廣間の前に立つて輝しをしてゐましたが、案内その新郎が私に、緊張な江戸つ子で、冗談を話しかけるのです、あまりにも突然なので、こちらの方が、それに答へる日本語がうまく出て來ないが、日本の記念寫眞は大抵の方が

したその新郎は醫學大學で教鞭をとつたことのある人だつたのですがこんな時、日本の新郎は、すつかり堅くなつてゐるさうと軽い冗談の一つも、いつてつけ入る程の態度の人はないやうですが、またそんな人は不器用だと花嫁が恐れをなしてしまふやうですけれど、外國では自由結婚などが多い關係上あつさりと緊張らないその和やかな氣分が、そのまま記念寫眞に出て來て、實に丸味のあるゆとりのある寫眞が出來ます

いつまでも晴れやかな緊張でその寫眞を取り出すことが出來ますが、日本の記念寫眞は大抵の方がそちらに氣を奪はれて落着かず眼られない

一、眼る適當な場所を選ばない

一、子供が一人眼の出ないために忙しい時には面倒になつてしまつたりしなかつたりする

お互ひに、氣をつけて、子供の寫眞の時間を靜かなものにつくつてやりませう。

寫眞の時間ですが、これは大體次の時刻が適當と思ひます。

兩一年半—二年　午後十二時半—一時半

兩二年—三年　同午後一時半—二時

兩三年—四年　同午後二時—一時半

兩四年—五年　同　同

兩五年—六年　同　同

寒さに向つて風邪がかからぬやうに、溫かい室で寫かせるといふことも忘れないでください

玩具の與へ方

無關に與へるのも考へもの

子供の世界から玩具を取除いたら全く淋しい可哀さうなものです玩具はたのしみの中にも幼兒の生活を育み伸ばす大事な教育機關といへませう。玩具は遊ぶ時だけが教育になるのでなく、露び方實び方、與へ方がすべて教育の材料にならなければなりません。けれど實際は遠い用意も方針もなく與へられ、市場を調べるといはゆる玩具の遊園で、年々何千万円が消費されてゐるのです。

そして子等の實はれる玩具はどんな風に子供に扱はれてゐるのでせう。ある調査によると、次の如き例がありました

一、整理出來ない程澤山おもちやを持つてゐる子供、一人で八十も百も持つてゐる子供があります。生れた時に六個だけでも二十もつた赤坊がありました。

二、安物の玩具を澤山買つてゐる子供、安價だからといつて何の意味もないおもちやを買ひ集めるほど感心なことはない、結局は相當の金額になつてゐます。

三、醫師にやかましやを持たない子供、勢力が强くと無暗をはじめるその惡戯をよい方に導くためにもよい玩具を與へたい。

からいふ現狀で今では教育機關であるべき玩具が、出しつぱなし散亂さない、まちがつた所有感、物を粗末にするなどの惡癖を養ふ材料となつてゐます。

それで、玩具を與へるのにも一定の方針をたてねばなりません。赤ちやん、といへばガラ〳〵といふ風にいつまでも同じ種類のものばかり與へてはなりません。遊ぶ機會にガラ〳〵を無數な樂器に變へてゆく注意が肝要です。自動車の玩具にしても、はじめに木製の物を次には金屬性、次にはゼンマイ付といふやうに構造、原理について知らず知らずの裏のことを學び得るやうに、新しい組織をたてて玩具を與へたいと思ひます

打ち玩具で樂を使ふことに慣れれば滿六歳になる頃には金屬で釘が打てるやうになります。然へば現在は三輪車にいきなり乘るので、始めはどうしても大人が押してやつたり、ひつぱつてやつたりしなくてはなりません、子供はうるさく、お世さん押して押してといふことになりまう。これは三輪車の前は、もう一歳低い足で押す三輪車を與へたらよいと思ひます系の中で足でこいで廻れば、三輪車に乘るこつが分つて自ら乘れるやうになるでせう。

とにかく、玩具の選擇は容易でないもので、よいとか悪いとか、正しき玩具に區別出來ませんが、正しき玩具生活を有機的關係があるものですから、子供の好き嫌いによつて玩具の與へ方の方針をたてたいものです。

幼兒と畫寐

子供になかなか睡をしないといふ方がありますが、幼兒の間はぜひ睡眠をさせたいと思ひます。

睡眠問題をしてみると、今日では大部分の家庭に於て、子供の睡眠の實行してゐる方がありません。兩親半數が睡眠の實行を出來ないとでは子供の睡眠は出來ないとでは大きな誤りです。

次に、睡眠をしてゐる調査して見ました結果

一年半—二年　一〇〇%

二年—三年　五五%

三年—四年　四六%

四年—五年　二〇%

五年—六年　一〇%

となつてゐます。それから、睡眠が何故出來ないかと申し、次の理由があげられます。

一、昼寐の關係で夜眠つかない

二、安眠の關係で夜眠つかない

三、睡眠の關係で夜眠つかない

四、睡眠の關係で夜眠つかない

五、睡眠の關係で夜眠つかない

六、睡眠の關係で夜眠つかない

七、睡眠の關係で夜眠つかない

八、睡眠の關係で夜眠つかない

九、睡眠の關係で夜眠つかない

十、睡眠の關係で夜眠つかない

連載マンガ　快速トンちゃん　(26)

個性の美

太つた人は體質上に、痩た人は太つて見えるやうに苦心されますが、これはなんでもないことですしかしただその人の個性はかりは かくすことが出來ません、今では美しく描れた體質といふよりチャーミングに描れた體質の方がよろこばれるやうになつてゐますからかへつて個性の現れたものの方が動きがあつて、代々難いものだと思ひます、私は常に個性をうつすことを主眼としてをりますが實に面白い體質が出來ます

（世界知識）

イギリス・瓦斯マスク

瓦斯マスクが赤ん坊にまで配給されてゐますが、これは子供の上にすつぽりかぶせる袋みたいなもので、このなかに入つてゐれば赤ん坊は全く安全なのです

フランス・地下の潤滑

フランスの南西部には數百べき地下洞窟がありますが、豊富それを見物出來るやうに歴史や便宜な設備をして公開しました、地下には世界で一番長いといはれる川が流れてゐたり、六呎の高さの廊があつたりしてゐます、一ツの廣間の廣さは長さ四五〇呎、幅二五〇呎、高さ約百五〇呎でなかなか壯觀であります

エルサレム・墜落事件

先日エルサレムの中心のユダヤ人の家の屋根で墜落があつた時イギリスの二警官が死にました

デンマーク・航空路停止

ベルリンとコペンハーゲンの間の航空路は去る八月二十六日から停止されました

玩具の與へ方

無關に與へるのも考へもの

子供の世界から玩具を取除いたら全く淋しい可哀さうなものです玩具はたのしみの中にも幼兒の生活を育み伸ばす大事な教育機關といへませう。玩具は遊ぶ時だけが教育になるのでなく、露び方實び方、與へ方がすべて教育の材料にならなければなりません。けれど實際は遠い用意も方針もなく與へられ、市場を調べるといはゆる玩具の遊園で、年々何千万円が消費されてゐるのです。

そして子等の實はれる玩具はどんな風に子供に扱はれてゐるのでせう。ある調査によると、次の如き例がありました

一、整理出來ない程澤山おもちやを持つてゐる子供、一人で八十も百も持つてゐる子供があります。生れた時に六個だけでも二十もつた赤坊がありました。

二、安物の玩具を澤山買つてゐる子供、安價だからといつて何の意味もないおもちやを買ひ集めるほど感心なことはない、結局は相當の金額になつてゐます。

三、醫師にやかましやを持たない子供、勢力が强くと無暗をはじめるその惡戯をよい方に導くためにもよい玩具を與へたい。

からいふ現狀で今では教育機關であるべき玩具が、出しつぱなし散亂さない、まちがつた所有感、物を粗末にするなどの惡癖を養ふ材料となつてゐます。

それで、玩具を與へるのにも一定の方針をたてねばなりません。赤ちやん、といへばガラ〳〵といふ風にいつまでも同じ種類のものばかり與へてはなりません。遊ぶ機會にガラ〳〵を無數な樂器に變へてゆく注意が肝要です。自動車の玩具にしても、はじめに木製の物を次には金屬性、次にはゼンマイ付といふやうに構造、原理について知らず知らずの裏のことを學び得るやうに、新しい組織をたてて玩具を與へたいと思ひます

打ち玩具で樂を使ふことに慣れれば滿六歳になる頃には金屬で釘が打てるやうになります。然へば現在は三輪車にいきなり乘るので、始めはどうしても大人が押してやつたり、ひつぱつてやつたりしなくてはなりません、子供はうるさく、お世さん押して押してといふことになりまう。これは三輪車の前は、もう一歳低い足で押す三輪車を與へたらよいと思ひます系の中で足でこいで廻れば、三輪車に乘るこつが分つて自ら乘れるやうになるでせう。

とにかく、玩具の選擇は容易でないもので、よいとか悪いとか、正しき玩具に區別出來ませんが、正しき玩具生活を有機的關係があるものですから、子供の好き嫌いによつて玩具の與へ方の方針をたてたいものです。

幼兒と畫寐

子供になかなか睡をしないといふ方がありますが、幼兒の間はぜひ睡眠をさせたいと思ひます。

睡眠問題をしてみると、今日では大部分の家庭に於て、子供の睡眠の實行してゐる方がありません。兩親半數が睡眠の實行を出來ないとでは子供の睡眠は出來ないとでは大きな誤りです。

次に、睡眠をしてゐる調査して見ました結果

一年半—二年　一〇〇%

二年—三年　五五%

三年—四年　四六%

四年—五年　二〇%

五年—六年　一〇%

となつてゐます。それから、睡眠が何故出來ないかと申し、次の理由があげられます。

一、昼寐の關係で夜眠つかない

二、安眠の關係で夜眠つかない

三、睡眠の關係で夜眠つかない

四、睡眠の關係で夜眠つかない

五、睡眠の關係で夜眠つかない

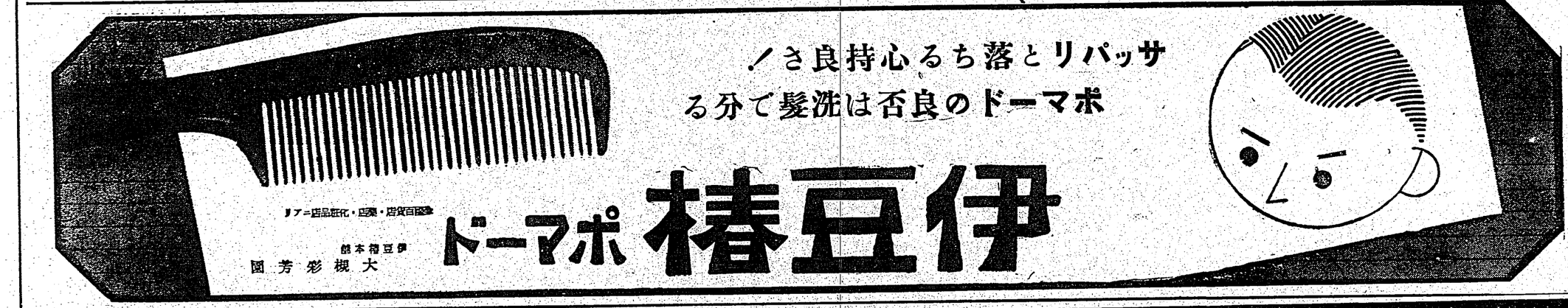
六、睡眠の關係で夜眠つかない

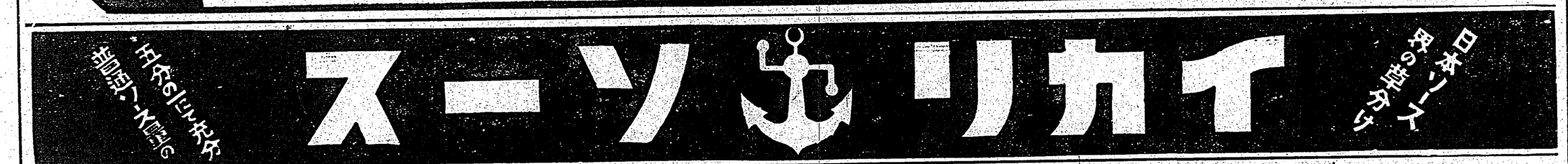
七、睡眠の關係で夜眠つかない

八、睡眠の關係で夜眠つかない

九、睡眠の關係で夜眠つかない

十、睡眠の關係で夜眠つかない





ルーロカルヴアクロール（ルーモチドーヨ）併用殺菌力

一萬倍稀釋液	五千倍稀釋液	一千倍稀釋液	五百倍稀釋液		菌種及ビロ腐敗菌發酵シヤス糸狀菌
滅死全完	滅死全完	滅死全完	滅死全完	菌スフチ	連
滅死全完	滅死全完	滅死全完	滅死全完	菌球狀鎖	葡
滅死全完	滅死全完	滅死全完	滅死全完	菌球狀葡	葡
滅死全完	滅死全完	滅死全完	滅死全完	菌腸・大	
滅死全完	滅死全完	滅死全完	滅死全完	菌球双炎	肺
滅死全完	滅死全完	滅死全完	滅死全完	菌ーリテフザ	性
滅死全完	滅死全完	滅死全完	滅死全完	菌核	結

一〇〇〇倍乃至五〇〇〇倍迄殺菌ルーモチ・ルーロ共ニ完全ニ滅ス

種・十三錢ヨリ以上各種
半種・十八錢ヨリ廿五錢ヨリ

馬に乘る猿

(1) 石川達三作

伊東顯畫

偉いといふ事(一)

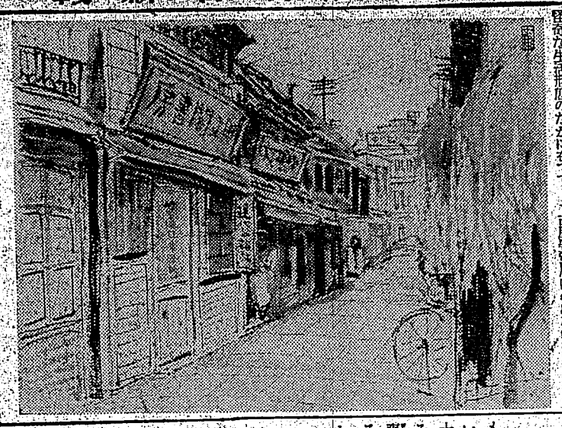
偉いとか偉くないとか、世間では批評に言われども、何を標準にして言つてゐるのかよくわからない。偉くないと評判されてゐても大の眞に立つて仕事をして行く者もあり、偉いと言はれながらも生涯あはれな夢しをして居る者もある。孔子に言はせれば一盃の食一盃の飲物に於て人その樂びを改めずといふのが偉さの標準らしいが、そこまで徹底してしまふと、本人は偉いかも知れぬが、多少の影響はたるをまぬかれない。

何事につけても偉い偉くないと言つてしまふと、批評になつてしまふ。あまり金儲けに敏なのも批評だが、國のやうに金の要らない人間も批評だ。從來は成るべく金を貯めてみ、成るべく消費の節つまもしてゐるのである。さういふ批評が正當であるかどうかは別として、その不徹底な生活をたのしむものだ。

不徹底だからその生活は複雑をきはめ、從つて種々の矛盾を生ずる。その矛盾を解決する爲に、或ひは矛盾をそのまゝ押通すために、人間は實に多くの智慧を絞つてゐるのである。さういふ點に於ては、人生の實體を像とどこまでも追及する興味深い材料を供給してゐるのである。

偉い偉くないことを申せば、神樣にだつて偉い神樣と偉くない神樣とがあるらしい。神樣の偉さをどこでは決めるのだと問はれるとちよつと困るが、神樣の偉さは人間ではかるより仕方があるまい、神主の說による神無月には八百よろづの神々が出雲大社に集まるといふから、その點だけでも神々の偉さの標準が定められるかも知れないが、神樣にも偉い神樣はやはり偉いにちがひない。毎月十一日には天の祕の門に近い榮の神樣のお祭で、遲から大變な參詣人である。相當偉い神樣であるらしい。二間四方は露店が並び繁昌をきはめる。夜は近所の店々が提燈をつける。神社から遠くない所に提燈屋が一軒あるが、この店にこの日の祭が腹はゞたけにこの店も年中仕事が多い。ほんの間口二間ほどの小さな店だが、店の主人は弱から晩まで忙しく提燈の骨を削つたり、股をひろげて大きな字を書いたりしてゐる。

提燈は能率に考へるが、このおやぢは能率に考へるが、このおやぢは偉いかどうかといふことは、ここでは問題にしない。



歌人の作をいろ〳〵と批評されたことを、同研究會の伊藤謙氏から聽はつた

× × ×

紫 のけぶりの夢については、本文の評者はこれまでさま〴〵の題材を提供した

× × ×

種 なものの煙集があるが、タバコの歌を歌集タバコの歌集

× × ×

秦 西にはタバコ詩文集がある。東京の專賣局にもその一册は保管されてゐると聞いたことがあるが、わが煙草の三十一文字に依る詩歌にくらべればその項目はともかくとして、餘く興味深く感じが湧られないやうである、ともかく、選ばれたものの中から、七首をとり拾げて見やう

○

煙草すらやめむとおもふ夜になりて雖しき連にあひしものかな　尾上鷹二郎

○

煙草など喫ひそめにけり勝さすての着物の袂掃ひつつまさしも　若山牧水

○

わがふきし煙草のけむの石米をけさしみじみとながめたりけり　相馬御風

○

秋の夜は机の棚の煙草箱に煙草赤し親が戀なるなり　北原白秋

○

手の病うれふる叔父は今つけて吸はぬ火皿にまたつきてゐる　川端千枝

○

山峽の宿た寒にどべるて我がすひにけりからき煙草

× × ×

な ほ、尾山鷹二郎氏の歌に次の一首がある

指のまにはさむ煙草の灰ちりて机かけやせり慣らひも

× × ×

か うして見ると、何れも平凡にならがまの感じを歌つてゐるのがうれしい。偶かにここに御紹介したのは七首であるが、その一首一首について醉かに味はへば、何れも吾々の生活のうちに拾ひ出されるさまざまの心醉が、はつきりと浮かび出されるのである

あ とからつ足した尾山鷹二郎氏の「指の間にはさむ煙草の灰ちりて……」などは、何かあのでも歌かうとする人によつては、まことに、歌にしやせられるものが多い

◇祭る三七金と託だれても、大和久兵衛はまたこの鬼手に氣が付かず、八王子に、次に那立の銀金に交換を強求れば、指切に導くを得べしと解して居るらしい、氏には二手目の歩問、櫻祭也を製じ「失敬つた」この手があれば前局に二六香と打つて、持久戰にする所でしたと、を續し投降を認らして居た

◇下手九三歩は、殺が低に一歩を有し、さらに一歩を與へても、その爲めに自陣に溜歩を及ぼすことなしと見て、手順に金のある現在、この歩で詰めよを掛けて、同形を取らせて居ては、後の機會にこの桂に當り分けはこれを手中に收めて、一挙に敵王を詰めようとする絶大の計算である

容易に切ぬ蓮の糸

◇上手二六香打は苦心の末氏の感想を、初心に表現した作手で、指切る所が如くにして切れる點も其の切れんとして切れざる光景である◇上手二八銀打は必死の新込である、これに對して下手は、初心に防禦して、この詰歩を打切すべきだつたと思ふ

◇詰る上手の二七金と打たれて、下手の二六歩は、詰五次兵衛久兵衛はまたこの鬼手に氣が付かず、八王子に、次に那立の銀金に交換を強求れば、指切に導くを得べしと解して居るらしい、氏には二手目の歩問、櫻祭也を製じ「失敬つた」この手があれば前局に二六香と打つて、持久戰にする所でしたと、を續し投降を認らして居た

◇下手九三歩は、殺が低に一歩を有し、さらに一歩を與へても、その爲めに自陣に溜歩を及ぼすことなしと見て、手順に金のある現在、この歩で詰めよを掛けて、同形を取らせて居ては、後の機會にこの桂に當り分けはこれを手中に收めて、一挙に敵王を詰めようとする絶大の計算である

◇上手二六香打は苦心の末氏の感想を、初心に表現した作手で、指切る所が如くにして切れざる光景である◇上手二八銀打は必死の新込である、これに對して下手は、初心に防禦して、この詰歩を打切すべきだつたと思ふ

◇詰る上手の二七金と打たれて、下手の二六歩は、詰五次兵衛久兵衛はまたこの鬼手に氣が付かず、八王子に、次に那立の銀金に交換を強求れば、指切に導くを得べしと解して居るらしい、氏には二手目の歩問、櫻祭也を製じ「失敬つた」この手があれば前局に二六香と打つて、持久戰にする所でしたと、を續し投降を認らして居た

◇下手九三歩は、殺が低に一歩を有し、さらに一歩を與へても、その爲めに自陣に溜歩を及ぼすことなしと見て、手順に金のある現在、この歩で詰めよを掛けて、同形を取らせて居ては、後の機會にこの桂に當り分けはこれを手中に收めて、一挙に敵王を詰めようとする絶大の計算である

容易に切ぬ蓮の糸

臺灣日日新報
（第二號）（明治卅一年五月九日第三種郵便物認可）　昭和十四年十一月九日（木曜日）　臺灣日日新報　第一萬四千二百四十三號　（一）
臺灣日日新報
日本夕刊共十二頁
社長　木佐　人行
編輯兼發行人　佐藤喜一郎
臺北市日吉町二丁目三番地
臺灣日日新報社　所在
電話　代表五八〇二番　編輯局直通　振替口座臺北一二〇八番
定價　本紙一ヶ月金貳圓　一ヶ月金八十錢　一ヶ月金貳圓拾錢　一ヶ年金六拾圓
廣告料　普通一行十五字　一回金拾錢　特別一行二十字　一回金貳拾錢　一ヶ月金貳圓　一ヶ年金拾圓
振替口座臺北一二〇八番　電話代表五八〇二番　編輯局直通　臺北二三〇六番

不穩・米國の恫喝言辭
帝國無關心たり得ず
須磨情報部長言明す

（須磨情報部長）

【東京八日發同盟】最近其筋某當局が關係の權威に向ひつつある時米國內部において對日恫喝の言辭が行はれてゐるが外務省須磨情報部長は八日外人記者團との定例會見に際し此種の質問に答へ「帝國としては無關心たらざるものである」と次の如く言明した

デーヴィス・シップを使いた行動であると思ふ、日本が支那において國權を擁して戰ふその戰の途上に立ち並んで同地に大軍を進めるであらうとの評說が傳はり、此のため和關係は現在非常な危機の會に臨められてゐる模樣である。六日夜、白耳義のレオポルド二世陛下が、和關の「リグ」に赴き同地でクイルミナ和關女皇と會見されたといふ報道は、國際情勢現下の急迫してゐる重態に對し、何等か新重大發展の發端ではなきかを想像されたものと信ぜられ、その一手段として兩國は相提携して英佛並にドイツに對し兩者の和平を勸告したものと觀られてゐる。

二

兩國の和が提關が眞劍としてもそれは現在兩國が直面してゐる危機切り抜けの爲めの一つの緊張としか考へられず、恐らく兩國の元首に於ても必ず此の提案が成就するものとも考へ得られまい點ふ即ちこれは獨ら英佛及びドイツ等の交戰國に、和關や白耳義が直面してゐる困難な立場を感へんとする一つのゼスチュアと見る外はない。この提案が容れられない場合において兩國としては眞劍の切り札ではあるまいか。然らば此の最後の切札は何であるか、この點については目下ソ聯邦との間に紛議を醸してゐる芬關にも關與、踏戰等の北歐諸國などから同一提案若くは同一態度に出るべきものと觀測されるが、兎に角これ等の諸國

戰時體制下の經濟事情（十二）

彈力性に富む麥酒

朝鮮と異る臺灣の增加率

米の減收に伴ふ酒造米の大削限は一般消費者に多大の影響を與へてゐるが同時に當局の苦衷の存する所で酒類の消費を興ふるものとして注目されてゐるが、ビールは酒の造石減を餘り痛痒を感じないではないから、從つて酒類全體の消費減少の可能性がないではないから、從つて酒類全體の消費減少の可能性がないではないから、從つて酒類全體の消費減少の可能性が

新月 仇討ごよみ　浮浪の女髪人と、仇を求め歩く浪人

鳴門清太郎

▲四十錢中 足掛二年 東京日日大阪毎日連載 ▲橋文館 東京市神田區一ツ橋通二四〇番

新鮮な感覚

★右衛門七恋慕　山手樹一郎

▲人情読切 ▲現代仕込 純愛讃歌 故郷の灯　濱本浩

▲人情読切 ▲現代仕込 初雪の街　縁談せ組小町　東山ハチロー　古里一旦

▲女性相談 結婚医療戦　谷中三一（医師）　河崎なつ

★お嫁に行きたい娘の心配の方に 花嫁現地除隊　小山貞吉　五千石大原青

★敵討人形新講 白衣の凱歌　佐七捕物帳　横溝正史

利勝の愛

▲まごころ問答（人生案内と長篇） 幾多の日記帳 ▲新しき花嫁（姉と妹と） ▲愛情相撲（女学生と長兵）

▲伸公とお酉様　三木一蒐　▲活動国定教科書 明暗恋慕笛　笹本寅　▲8回読切 8回読切 婚定め御前試令

名君日記 街道気儘旅　小金井蘆洲

正直一徹！ 磯川兵助功名噺　野村胡堂

全部読切！ 講談雑誌 十二月 40銭

たしま出が號月二十五冨

品位ある上流社会 堂選作曲 発表す

讀んで愉快で見て面白い 戰線銃後の慰問隊

人生の奇術

讀切大長篇

添田さつき（齋藤五百枝畫）

私は嘘はいわない

讀切大長篇

長田幹彦（林唯一畫）

悪く傑作悪く面白い評判十三大篇

▲純愛の火見櫓　土師清二（木下大寒畫）
▲滅びの雪の私刑　貴司山治（豊田耕三畫）
▲仁侠たん咲十年の町人魂　邦枝完二（御保田世畫）
▲熱討ぬの剣の仇討　河上哲（加東三郎畫）
▲岩見重太郎生新版天下茶屋の花　一龍齋貞山（深田宏畫）
▲幕末情熱の剣士の翼　竹田敏彦（谷田幕太郎畫）
▲討伐隊長伊東大尉の道化師　川口松太郎（小田富雄畫）
▲雪の仁侠討ぬの剣の片腕　小島政二郎（土井保畫）
▲私は火見櫓の人片腕　吉川英治（山口將吉郎畫）
▲人生の奇術　添田さつき（齋藤五百枝畫）
▲人生の旗　菊池寛（石炭液化の権威宇佐美興屋）
▲人生の岐路　丹羽文雄
▲人生縮圖 純愛語 男のいのち　加藤武雄

動亂歐洲の將領を語る座談會

▲實戰手記 敵中彷徨三日間　中山（武）
▲新作落語 日曜日　柳家金語樓
▲明治名將 西郷從道元帥　木村毅

▲痛快無類 鶴亀武士道　白井喬二

グンキ

戰線に後銃に

氣人の心を高く！

國難 嗚呼、水谷部隊長

大波瀾の小説時代！

▲軍事小説 燃ゆる大空　北村小松
▲時代小説 木曽の勘八　神田伯山
▲諧謔小説 嫁取り双六　佐々木邦
▲現代小説 若い力　川口松太郎

加藤武雄先生が始めて物した大時代小説！回を重ねるに従つて愈〻大評判！

これを讀みて感涙に咽ばざるものなし！

▲我等の心構へ　竹田敏彦
▲故里の燈　時局寫眞畫報
▲珍奇・支那人氣質（七つのポイント）
▲歐洲大戰畫報（クラーセ）
▲キング大娯樂園
▲一問一答帝國大學 興亞奉公日誌統計

▲現代名士五分間傳記　宇佐美興屋
▲伊藤博文公の逸話　菊池寛
▲我等の心構へ　竹田敏彦
▲藝道修業話　飯塚琅玕齋
▲自らを恃む　小竹茂
▲陸軍歩兵曹長 宮田三郎

▲故里の燈　時局寫眞畫報
▲珍奇・支那人氣質（七つのポイント）
▲歐洲大戰畫報（クラーセ）
▲キング大娯樂園
▲一問一答帝國大學 興亞奉公日誌統計

▲詩壇の王者北原白秋氏　家家の坊ちやん半生の波瀾
▲工學博士大島義清氏　時代の立役者、石炭液化の権威

▲人を笑はせるコツ　花月亭九里丸
▲私の感心してゐる人の話　柳家金語樓
▲維新秘話 笑はれ源之丞　畑耕一
▲悲願の青年僧 心　今井鯛三
▲純情一路 花を賣る少女　谷崎精二

▲人生運命の岐路　丹羽文雄
▲人生縮圖 純愛語 男のいのち　加藤武雄

人生の奇術

添田さつき（齋藤五百枝畫）

人生の旗

巨匠菊池寛先生が世に問ふ大評判傑作

▲軍事小説 燃ゆる大空　北村小松
▲時代小説 木曽の勘八　神田伯山
▲諧謔小説 嫁取り双六　佐々木邦
▲現代小説 若い力　川口松太郎

加藤武雄先生が始めて物した大時代小説！回を重ねるに従つて愈〻大評判！

これを讀みて感涙に咽ばざるものなし！

▲我等の心構へ　竹田敏彦
▲故里の燈　時局寫眞畫報
▲珍奇・支那人氣質（七つのポイント）
▲歐洲大戰畫報（クラーセ）
▲キング大娯樂園
▲一問一答帝國大學 興亞奉公日誌統計

▲現代名士五分間傳記　宇佐美興屋
▲伊藤博文公の逸話　菊池寛
▲我等の心構へ　竹田敏彦
▲藝道修業話　飯塚琅玕齋
▲自らを恃む　小竹茂
▲陸軍歩兵曹長 宮田三郎

▲詩壇の王者北原白秋氏　家家の坊ちやん半生の波瀾
▲工學博士大島義清氏　時代の立役者、石炭液化の権威

▲人を笑はせるコツ　花月亭九里丸
▲私の感心してゐる人の話　柳家金語樓
▲維新秘話 笑はれ源之丞　畑耕一
▲悲願の青年僧 心　今井鯛三
▲純情一路 花を賣る少女　谷崎精二

▲人生運命の岐路　丹羽文雄
▲人生縮圖 純愛語 男のいのち　加藤武雄

動亂歐洲の將領を語る座談會

英雄の心 怪奇の謎 武士 無帳 金か 義士外傳 美談 更生 武士の情 志士 勤王 義と 悲劇 社会 異聞 仇討 奇譚 捕物 完璧の涙

▲新作落語 満員電車　柳家権太楼
▲新参百姓日記　和田邦坊
▲時事問題早わかり　深尾電氣學園第一文部省指定技術員養成所長
▲出征兵士を送る歌・曲譜　國民音樂協會・本社編輯部
▲家庭小説傑作集 兄弟　富田常雄
▲家庭小説傑作集 母と子　一市雄
▲家庭小説傑作集 機達　今井達夫
▲家庭小説傑作集 王　橋本宏

▲新作落語 日曜日　柳家金語樓
▲藝界噂話大笑館　國枝史郎（作家）

▲特別讀物 純愛の母子叢談 兄と妹　江戸川亂歩（探偵小説家）

▲上達秘訣 打込みの緩急　花田八段
▲将棋必勝 平手の急所　花田八段

▲名士の隠れ家 栗原荒野抄 十二月號

▲附錄 挟込 葉隠　栗原荒野抄

大日本雄辯會講談社發行　東京・小石川・（〇三九三京橋）　錢十七（送料四錢）

激流 (9)

（蔡千堰畫）

久生十蘭作
伊勢良夫畫

出發（九）

醫師は、呆気にとられて、青年の顔を瞰めた。

（このひとは、馬鹿なのかしら）

醫師で考へると、正氣の沙汰とは思へないやうなところがあつた。

ただの一瞬も待たずに、一人の知合りも友達もない東京へ出かけて行く。それだのに、留守のない、この眼ざまは、一體、どうしたいふことなんだらう。

醫師の狹い經驗では、どうしても理解しかねるところがあつた。いかにも納得しかねるので、もう一度、かうきかずにはゐられなかつた。

「そんな風で、不安なことはありませんのか？」

「いいえ」

さういつて、青年は、子供のやうな無邪氣な表情で、軈く微笑して見せた。明かつてゐるやうなところは、どこにもなかつた。

「醫師は、どうのむかしに消ましてしまひました。その方は、もう發狂になつてゐるんです」

「おほね、孤獨なんです。大村の孤兒院で育つて、つい昨日までその院を出てゐたんです。手に取早くいへば、子供の時から面倒をみてもらつたお院に、孤兒たちの保育をやつてゐたんです。勿論、月給などは貰はない。貰はたつて、こちらは戻らお戻はない。自分が育つて貰つたばかりのものを、自分が離いて逃げるのは辛り即ですからね！」

「それはさうですやうけど……でも……」

醫師は年來の友ぢやしない。……發狂は年來の友でれ、是い間の經驗なもんだから……」

ごつつと信號機やつてゐるんです」

さう言ふと、いかにもこの修辭が氣に入つたといふ風に、愉快さうに笑ひ出した。

本氣のやうでもあり、冗談を言つてゐるやうでもあつた。

醫師は、釣込まれて笑ひながら正直なところを言つた。

「冗談を言つていらつしやるのねあたし、本氣にしかけてましたわ。……悪い方れ」

言つてしまつてから、醫師は、狐の感情で、心の中で顔を縮めた。こんな輕い調子が、一體、自分のどこから出て來るのか、それが、ふしぎだつた。

手に負えないほど心が頑んで、どんなことを言ひ出すかわからなかつた。

「冗談なんですか。これ以上の眞實があり得ないほど、眞實な話なんです」

青年は、まるで他人のことでも話してゐるやうな口調で、

「僕はね、孤兒なんです。大村の孤兒院で育つて、つい昨日までその院を出てゐたんです。手に取早くいへば、子供の時から面倒をみてもらつたお院に、孤兒たちの保育をやつてゐたんです。勿論、月給などは貰はない。貰はたつて、こちらは戻らお戻はない。自分が育つて貰つたばかりのものを、自分が離いて逃げるのは辛り即ですからね！」

「それはさうですやうけど……でも……」

醫師は年來の友ぢやしない。……發狂は年來の友でれ、是い間の經驗なもんだから……」

批評と紹介

◆木石（全國館一等）註に關する批評、感想、世評等、そして感想。さうしたものの交錯を描きながら、退川初之丞と二人の女性を形影にして、二人の神經感を醫者に訴へしめた醫の力作木石の他に「すがた」「醫師」「メイヴィングファキンス」「雪晴れ」「白雨館」「東山坂子」「二面鏡」「花氏」等すべて十篇の短篇を收めた自選集。この一本によつて作者の特色をよく看取することが出來る。裝幀は東郷青兒（四六判上製二三二頁・五〇錢・東京市中央區矢來町新潮社）

◆神々の愛（谷川徹三著）是おを題材に人間氏の深刻なテーマを取扱つた長篇の愛と、作者の特殊な觀察ににじみ出てゐる「自然」の二篇を收めたもので、いづれも濃厚なヒューマニズムの愛情に滿ちあふれ、讀者の胸を打つものがある。日本におけるドストイエフスキー的な作品として作者の面目を發揮するに足る。裝幀は吉井勇（四六判上製二〇〇頁・五〇錢・東京市中央區矢來町新潮社）

◆皇民化運動（臺灣總督府調査課編・刊）先づ皇民運動といふ事の意義を述べ、その歷史的背景を説き、皇國日本を全く知る事が皇民化運動の基礎であるとし、國史に現れた日本精神を説き、出發點の確實かを今次の事變に照らして皇民化運動の實際に言及し、其間題點なる二、三の點を擧げ、皇民化運動の實際を明かにせる（菊判・一六〇頁・非賣品）

◆ちちははの記（上林暁著）文學の純粹性を堅持した異色ある作家として嘱目されてゐる著者の作品で、ちちははの記、聖女、殉教、捕縛への前夜の心と、聖末に於ける母との對決を收めた情熱的な作品集。純粹への憧憬と、何れも初期の純粹で緊張した情熱がいつまでも持續されてゐる著者の眞摯な心が、ひたすら讀者の胸に迫る。（四六判上製二四〇頁・一圓八〇錢・東京市牛込區矢來町新潮社）

◆最新寫眞發明（東京寫眞研究會編・刊）寫眞術の進歩發展が驚異の增進に寄與して居ることは言ふまでもないが今や大時局に直面しこの難局を突破するために各々職業上の發展を計らねばならぬ、然しながら海洋用の反面に機械故の發生は死活問題である。（菊判・一六〇頁・一圓）

◆ルーゴンケ（日本醫藥合名會社製）（廣告）

◆ちちははの記（上林暁著）文學の純粹性を堅持した異色ある作家として嘱目されてゐる著者の作品で、ちちははの記、聖女、殉教、捕縛への前夜の心と、聖末に於ける母との對決を收めた情熱的な作品集。純粹への憧憬と、何れも初期の純粹で緊張した情熱がいつまでも持續されてゐる著者の眞摯な心が、ひたすら讀者の胸に迫る。（四六判上製二四〇頁・一圓八〇錢・東京市牛込區矢來町新潮社）

◆最新寫眞發明（東京寫眞研究會編・刊）寫眞術の進歩發展が驚異の增進に寄與して居ることは言ふまでもないが今や大時局に直面しこの難局を突破するために各々職業上の發展を計らねばならぬ、然しながら海洋用の反面に機械故の發生は死活問題である。（菊判・一六〇頁・一圓）

◆ルーゴンケ（日本醫藥合名會社製）（廣告）

講演（東京）

子爵　平田　保男

講演（東京）

◆皇民化運動（臺灣總督府調査課編・刊）先づ皇民運動といふ事の意義を述べ、その歷史的背景を説き、皇國日本を全く知る事が皇民化運動の基礎であるとし、國史に現れた日本精神を説き、出發點の確實かを今次の事變に照らして皇民化運動の實際に言及し、其間題點なる二、三の點を擧げ、皇民化運動の實際を明かにせる（菊判・一六〇頁・非賣品）

音樂

【七・二〇】朝の挨拶（東京）動勞
【七・三〇】朝の音樂（東京）
【七・五〇】朝の音樂（レコード）
【八・〇〇】ニュース
【八・一〇】初等ドイツ語講座（第二十七講）（第一）西田正一
【八・四五】家庭講座（第一）子供の躾問題に就いて（二）山口ロル
【一〇・一五】家庭料理講座（第一）材料の選擇と其の調理法（二）ハンバーグステーキ附合小蕪二胡子の酸生菜（第一）
【一〇・三〇】女學校家事科（第一）
【一一・〇〇】肉豚取引價格（臺北）
【一一・一〇】臨時ニュース
【一一・一五】正午の時報（東京）公示並當局通牒
【一二・〇〇】午前經濟市況（東京）
【一二・一〇】臨時ニュース
【一二・一五】正午の時報（東京）公示並當局通牒
【一二・二〇】株式市況（東京）
【一二・三〇】時報（東京）
【一二・四〇】國民歌謠（東京）
【一二・五〇】ニュース
【一三・〇〇】國民歌謠（東京）
【一三・一〇】ニュース
【一三・二〇】國民歌謠（東京）
【一三・三〇】ニュース
【一三・四〇】國民歌謠（東京）
【一三・五〇】ニュース
【一四・〇〇】ニュース
【一四・一〇】國民歌謠（東京）
【一四・二〇】ニュース
【一四・三〇】國民歌謠（東京）
【一四・四〇】ニュース
【一四・五〇】ニュース
【一五・〇〇】ニュース
【一五・一〇】國民歌謠（東京）
【一五・二〇】ニュース
【一五・三〇】國民歌謠（東京）
【一五・四〇】ニュース
【一五・五〇】ニュース
【一六・〇〇】ニュース
【一六・一〇】國民歌謠（東京）
【一六・二〇】ニュース
【一六・三〇】國民歌謠（東京）
【一六・四〇】ニュース
【一六・五〇】ニュース
【一七・〇〇】ニュース
【一七・一〇】國民歌謠（東京）
【一七・二〇】ニュース
【一七・三〇】國民歌謠（東京）
【一七・四〇】ニュース
【一七・五〇】ニュース
【一八・〇〇】ニュース
【一八・一〇】國民歌謠（東京）
【一八・二〇】ニュース
【一八・三〇】國民歌謠（東京）
【一八・四〇】ニュース
【一八・五〇】ニュース
【一九・〇〇】ニュース
【一九・一〇】國民歌謠（東京）
【一九・二〇】ニュース
【一九・三〇】國民歌謠（東京）
【一九・四〇】ニュース
【一九・五〇】ニュース
【二〇・〇〇】ニュース
【二〇・一〇】國民歌謠（東京）
【二〇・二〇】ニュース
【二〇・三〇】國民歌謠（東京）
【二〇・四〇】ニュース
【二〇・五〇】ニュース
【二一・〇〇】ニュース
【二一・一〇】國民歌謠（東京）
【二一・二〇】ニュース
【二一・三〇】國民歌謠（東京）
【二一・四〇】ニュース
【二一・五〇】ニュース
【二二・〇〇】ニュース
【二二・一〇】國民歌謠（東京）
【二二・二〇】ニュース
【二二・三〇】國民歌謠（東京）
【二二・四〇】ニュース
【二二・五〇】ニュース
【二三・〇〇】ニュース
【二三・一〇】國民歌謠（東京）
【二三・二〇】ニュース
【二三・三〇】國民歌謠（東京）
【二三・四〇】ニュース
【二三・五〇】ニュース
【二四・〇〇】ニュース
【二四・一〇】國民歌謠（東京）
【二四・二〇】ニュース
【二四・三〇】國民歌謠（東京）
【二四・四〇】ニュース
【二四・五〇】ニュース
【二五・〇〇】ニュース
【二五・一〇】國民歌謠（東京）
【二五・二〇】ニュース
【二五・三〇】國民歌謠（東京）
【二五・四〇】ニュース
【二五・五〇】ニュース
【二六・〇〇】ニュース
【二六・一〇】國民歌謠（東京）
【二六・二〇】ニュース
【二六・三〇】國民歌謠（東京）
【二六・四〇】ニュース
【二六・五〇】ニュース
【二七・〇〇】ニュース
【二七・一〇】國民歌謠（東京）
【二七・二〇】ニュース
【二七・三〇】國民歌謠（東京）
【二七・四〇】ニュース
【二七・五〇】ニュース
【二八・〇〇】ニュース
【二八・一〇】國民歌謠（東京）
【二八・二〇】ニュース
【二八・三〇】國民歌謠（東京）
【二八・四〇】ニュース
【二八・五〇】ニュース
【二九・〇〇】ニュース
【二九・一〇】國民歌謠（東京）
【二九・二〇】ニュース
【二九・三〇】國民歌謠（東京）
【二九・四〇】ニュース
【二九・五〇】ニュース
【三〇・〇〇】ニュース
【三〇・一〇】國民歌謠（東京）
【三〇・二〇】ニュース
【三〇・三〇】國民歌謠（東京）
【三〇・四〇】ニュース
【三〇・五〇】ニュース
【三一・〇〇】ニュース
【三一・一〇】國民歌謠（東京）
【三一・二〇】ニュース
【三一・三〇】國民歌謠（東京）
【三一・四〇】ニュース
【三一・五〇】ニュース
【三二・〇〇】ニュース
【三二・一〇】國民歌謠（東京）
【三二・二〇】ニュース
【三二・三〇】國民歌謠（東京）
【三二・四〇】ニュース
【三二・五〇】ニュース
【三三・〇〇】ニュース
【三三・一〇】國民歌謠（東京）
【三三・二〇】ニュース
【三三・三〇】國民歌謠（東京）
【三三・四〇】ニュース
【三三・五〇】ニュース
【三四・〇〇】ニュース
【三四・一〇】國民歌謠（東京）
【三四・二〇】ニュース
【三四・三〇】國民歌謠（東京）
【三四・四〇】ニュース
【三四・五〇】ニュース
【三五・〇〇】ニュース
【三五・一〇】國民歌謠（東京）
【三五・二〇】ニュース
【三五・三〇】國民歌謠（東京）
【三五・四〇】ニュース
【三五・五〇】ニュース
【三六・〇〇】ニュース
【三六・一〇】國民歌謠（東京）
【三六・二〇】ニュース
【三六・三〇】國民歌謠（東京）
【三六・四〇】ニュース
【三六・五〇】ニュース
【三七・〇〇】ニュース
【三七・一〇】國民歌謠（東京）
【三七・二〇】ニュース
【三七・三〇】國民歌謠（東京）
【三七・四〇】ニュース
【三七・五〇】ニュース
【三八・〇〇】ニュース
【三八・一〇】國民歌謠（東京）
【三八・二〇】ニュース
【三八・三〇】國民歌謠（東京）
【三八・四〇】ニュース
【三八・五〇】ニュース
【三九・〇〇】ニュース
【三九・一〇】國民歌謠（東京）
【三九・二〇】ニュース
【三九・三〇】國民歌謠（東京）
【三九・四〇】ニュース
【三九・五〇】ニュース
【四〇・〇〇】ニュース
【四〇・一〇】國民歌謠（東京）
【四〇・二〇】ニュース
【四〇・三〇】國民歌謠（東京）
【四〇・四〇】ニュース
【四〇・五〇】ニュース
【四一・〇〇】ニュース
【四一・一〇】國民歌謠（東京）
【四一・二〇】ニュース
【四一・三〇】國民歌謠（東京）
【四一・四〇】ニュース
【四一・五〇】ニュース
【四二・〇〇】ニュース
【四二・一〇】國民歌謠（東京）
【四二・二〇】ニュース
【四二・三〇】國民歌謠（東京）
【四二・四〇】ニュース
【四二・五〇】ニュース
【四三・〇〇】ニュース
【四三・一〇】國民歌謠（東京）
【四三・二〇】ニュース
【四三・三〇】國民歌謠（東京）
【四三・四〇】ニュース
【四三・五〇】ニュース
【四四・〇〇】ニュース
【四四・一〇】國民歌謠（東京）
【四四・二〇】ニュース
【四四・三〇】國民歌謠（東京）
【四四・四〇】ニュース
【四四・五〇】ニュース
【四五・〇〇】ニュース
【四五・一〇】國民歌謠（東京）
【四五・二〇】ニュース
【四五・三〇】國民歌謠（東京）
【四五・四〇】ニュース
【四五・五〇】ニュース
【四六・〇〇】ニュース
【四六・一〇】國民歌謠（東京）
【四六・二〇】ニュース
【四六・三〇】國民歌謠（東京）
【四六・四〇】ニュース
【四六・五〇】ニュース
【四七・〇〇】ニュース
【四七・一〇】國民歌謠（東京）
【四七・二〇】ニュース
【四七・三〇】國民歌謠（東京）
【四七・四〇】ニュース
【四七・五〇】ニュース
【四八・〇〇】ニュース
【四八・一〇】國民歌謠（東京）
【四八・二〇】ニュース
【四八・三〇】國民歌謠（東京）
【四八・四〇】ニュース
【四八・五〇】ニュース
【四九・〇〇】ニュース
【四九・一〇】國民歌謠（東京）
【四九・二〇】ニュース
【四九・三〇】國民歌謠（東京）
【四九・四〇】ニュース
【四九・五〇】ニュース
【五〇・〇〇】ニュース
【五〇・一〇】國民歌謠（東京）
【五〇・二〇】ニュース
【五〇・三〇】國民歌謠（東京）
【五〇・四〇】ニュース
【五〇・五〇】ニュース
【五一・〇〇】ニュース
【五一・一〇】國民歌謠（東京）
【五一・二〇】ニュース
【五一・三〇】國民歌謠（東京）
【五一・四〇】ニュース
【五一・五〇】ニュース
【五二・〇〇】ニュース
【五二・一〇】國民歌謠（東京）
【五二・二〇】ニュース
【五二・三〇】國民歌謠（東京）
【五二・四〇】ニュース
【五二・五〇】ニュース
【五三・〇〇】ニュース
【五三・一〇】國民歌謠（東京）
【五三・二〇】ニュース
【五三・三〇】國民歌謠（東京）
【五三・四〇】ニュース
【五三・五〇】ニュース
【五四・〇〇】ニュース
【五四・一〇】國民歌謠（東京）
【五四・二〇】ニュース
【五四・三〇】國民歌謠（東京）
【五四・四〇】ニュース
【五四・五〇】ニュース
【五五・〇〇】ニュース
【五五・一〇】國民歌謠（東京）
【五五・二〇】ニュース
【五五・三〇】國民歌謠（東京）
【五五・四〇】ニュース
【五五・五〇】ニュース
【五六・〇〇】ニュース
【五六・一〇】國民歌謠（東京）
【五六・二〇】ニュース
【五六・三〇】國民歌謠（東京）
【五六・四〇】ニュース
【五六・五〇】ニュース
【五七・〇〇】ニュース
【五七・一〇】國民歌謠（東京）
【五七・二〇】ニュース
【五七・三〇】國民歌謠（東京）
【五七・四〇】ニュース
【五七・五〇】ニュース
【五八・〇〇】ニュース
【五八・一〇】國民歌謠（東京）
【五八・二〇】ニュース
【五八・三〇】國民歌謠（東京）
【五八・四〇】ニュース
【五八・五〇】ニュース
【五九・〇〇】ニュース
【五九・一〇】國民歌謠（東京）
【五九・二〇】ニュース
【五九・三〇】國民歌謠（東京）
【五九・四〇】ニュース
【五九・五〇】ニュース
【六〇・〇〇】ニュース
【六〇・一〇】國民歌謠（東京）
【六〇・二〇】ニュース
【六〇・三〇】國民歌謠（東京）
【六〇・四〇】ニュース
【六〇・五〇】ニュース
【六一・〇〇】ニュース
【六一・一〇】國民歌謠（東京）
【六一・二〇】ニュース
【六一・三〇】國民歌謠（東京）
【六一・四〇】ニュース
【六一・五〇】ニュース
【六二・〇〇】ニュース
【六二・一〇】國民歌謠（東京）
【六二・二〇】ニュース
【六二・三〇】國民歌謠（東京）
【六二・四〇】ニュース
【六二・五〇】ニュース
【六三・〇〇】ニュース
【六三・一〇】國民歌謠（東京）
【六三・二〇】ニュース
【六三・三〇】國民歌謠（東京）
【六三・四〇】ニュース
【六三・五〇】ニュース
【六四・〇〇】ニュース
【六四・一〇】國民歌謠（東京）
【六四・二〇】ニュース
【六四・三〇】國民歌謠（東京）
【六四・四〇】ニュース
【六四・五〇】ニュース
【六五・〇〇】ニュース
【六五・一〇】國民歌謠（東京）
【六五・二〇】ニュース
【六五・三〇】國民歌謠（東京）
【六五・四〇】ニュース
【六五・五〇】ニュース
【六六・〇〇】ニュース
【六六・一〇】國民歌謠（東京）
【六六・二〇】ニュース
【六六・三〇】國民歌謠（東京）
【六六・四〇】ニュース
【六六・五〇】ニュース
【六七・〇〇】ニュース
【六七・一〇】國民歌謠（東京）
【六七・二〇】ニュース
【六七・三〇】國民歌謠（東京）
【六七・四〇】ニュース
【六七・五〇】ニュース
【六八・〇〇】ニュース
【六八・一〇】國民歌謠（東京）
【六八・二〇】ニュース
【六八・三〇】國民歌謠（東京）
【六八・四〇】ニュース
【六八・五〇】ニュース
【六九・〇〇】ニュース
【六九・一〇】國民歌謠（東京）
【六九・二〇】ニュース
【六九・三〇】國民歌謠（東京）
【六九・四〇】ニュース
【六九・五〇】ニュース
【七〇・〇〇】ニュース
【七〇・一〇】國民歌謠（東京）
【七〇・二〇】ニュース
【七〇・三〇】國民歌謠（東京）
【七〇・四〇】ニュース
【七〇・五〇】ニュース
【七一・〇〇】ニュース
【七一・一〇】國民歌謠（東京）
【七一・二〇】ニュース
【七一・三〇】國民歌謠（東京）
【七一・四〇】ニュース
【七一・五〇】ニュース
【七二・〇〇】ニュース
【七二・一〇】國民歌謠（東京）
【七二・二〇】ニュース
【七二・三〇】國民歌謠（東京）
【七二・四〇】ニュース
【七二・五〇】ニュース
【七三・〇〇】ニュース
【七三・一〇】國民歌謠（東京）
【七三・二〇】ニュース
【七三・三〇】國民歌謠（東京）
【七三・四〇】ニュース
【七三・五〇】ニュース
【七四・〇〇】ニュース
【七四・一〇】國民歌謠（東京）
【七四・二〇】ニュース
【七四・三〇】國民歌謠（東京）
【七四・四〇】ニュース
【七四・五〇】ニュース
【七五・〇〇】ニュース
【七五・一〇】國民歌謠（東京）
【七五・二〇】ニュース
【七五・三〇】國民歌謠（東京）
【七五・四〇】ニュース
【七五・五〇】ニュース
【七六・〇〇】ニュース
【七六・一〇】國民歌謠（東京）
【七六・二〇】ニュース
【七六・三〇】國民歌謠（東京）
【七六・四〇】ニュース
【七六・五〇】ニュース
【七七・〇〇】ニュース
【七七・一〇】國民歌謠（東京）
【七七・二〇】ニュース
【七七・三〇】國民歌謠（東京）
【七七・四〇】ニュース
【七七・五〇】ニュース
【七八・〇〇】ニュース
【七八・一〇】國民歌謠（東京）
【七八・二〇】ニュース
【七八・三〇】國民歌謠（東京）
【七八・四〇】ニュース
【七八・五〇】ニュース
【七九・〇〇】ニュース
【七九・一〇】國民歌謠（東京）
【七九・二〇】ニュース
【七九・三〇】國民歌謠（東京）
【七九・四〇】ニュース
【七九・五〇】ニュース
【八〇・〇〇】ニュース
【八〇・一〇】國民歌謠（東京）
【八〇・二〇】ニュース
【八〇・三〇】國民歌謠（東京）
【八〇・四〇】ニュース
【八〇・五〇】ニュース
【八一・〇〇】ニュース
【八一・一〇】國民歌謠（東京）
【八一・二〇】ニュース
【八一・三〇】國民歌謠（東京）
【八一・四〇】ニュース
【八一・五〇】ニュース
【八二・〇〇】ニュース
【八二・一〇】國民歌謠（東京）
【八二・二〇】ニュース
【八二・三〇】國民歌謠（東京）
【八二・四〇】ニュース
【八二・五〇】ニュース
【八三・〇〇】ニュース
【八三・一〇】國民歌謠（東京）
【八三・二〇】ニュース
【八三・三〇】國民歌謠（東京）
【八三・四〇】ニュース
【八三・五〇】ニュース
【八四・〇〇】ニュース
【八四・一〇】國民歌謠（東京）
【八四・二〇】ニュース
【八四・三〇】國民歌謠（東京）
【八四・四〇】ニュース
【八四・五〇】ニュース
【八五・〇〇】ニュース
【八五・一〇】國民歌謠（東京）
【八五・二〇】ニュース
【八五・三〇】國民歌謠（東京）
【八五・四〇】ニュース
【八五・五〇】ニュース
【八六・〇〇】ニュース
【八六・一〇】國民歌謠（東京）
【八六・二〇】ニュース
【八六・三〇】國民歌謠（東京）
【八六・四〇】ニュース
【八六・五〇】ニュース
【八七・〇〇】ニュース
【八七・一〇】國民歌謠（東京）
【八七・二〇】ニュース
【八七・三〇】國民歌謠（東京）
【八七・四〇】ニュース
【八七・五〇】ニュース
【八八・〇〇】ニュース
【八八・一〇】國民歌謠（東京）
【八八・二〇】ニュース
【八八・三〇】國民歌謠（東京）
【八八・四〇】ニュース
【八八・五〇】ニュース
【八九・〇〇】ニュース
【八九・一〇】國民歌謠（東京）
【八九・二〇】ニュース
【八九・三〇】國民歌謠（東京）
【八九・四〇】ニュース
【八九・五〇】ニュース
【九〇・〇〇】ニュース
【九〇・一〇】國民歌謠（東京）
【九〇・二〇】ニュース
【九〇・三〇】國民歌謠（東京）
【九〇・四〇】ニュース
【九〇・五〇】ニュース
【九一・〇〇】ニュース
【九一・一〇】國民歌謠（東京）
【九一・二〇】ニュース
【九一・三〇】國民歌謠（東京）
【九一・四〇】ニュース
【九一・五〇】ニュース
【九二・〇〇】ニュース
【九二・一〇】國民歌謠（東京）
【九二・二〇】ニュース
【九二・三〇】國民歌謠（東京）
【九二・四〇】ニュース
【九二・五〇】ニュース
【九三・〇〇】ニュース
【九三・一〇】國民歌謠（東京）
【九三・二〇】ニュース
【九三・三〇】國民歌謠（東京）
【九三・四〇】ニュース
【九三・五〇】ニュース
【九四・〇〇】ニュース
【九四・一〇】國民歌謠（東京）
【九四・二〇】ニュース
【九四・三〇】國民歌謠（東京）
【九四・四〇】ニュース
【九四・五〇】ニュース
【九五・〇〇】ニュース
【九五・一〇】國民歌謠（東京）
【九五・二〇】ニュース
【九五・三〇】國民歌謠（東京）
【九五・四〇】ニュース
【九五・五〇】ニュース
【九六・〇〇】ニュース
【九六・一〇】國民歌謠（東京）
【九六・二〇】ニュース
【九六・三〇】國民歌謠（東京）
【九六・四〇】ニュース
【九六・五〇】ニュース
【九七・〇〇】ニュース
【九七・一〇】國民歌謠（東京）
【九七・二〇】ニュース
【九七・三〇】國民歌謠（東京）
【九七・四〇】ニュース
【九七・五〇】ニュース
【九八・〇〇】ニュース
【九八・一〇】國民歌謠（東京）
【九八・二〇】ニュース
【九八・三〇】國民歌謠（東京）
【九八・四〇】ニュース
【九八・五〇】ニュース
【九九・〇〇】ニュース
【九九・一〇】國民歌謠（東京）
【九九・二〇】ニュース
【九九・三〇】國民歌謠（東京）
【九九・四〇】ニュース
【九九・五〇】ニュース
【一〇〇・〇〇】ニュース
【一〇〇・一〇】國民歌謠（東京）
【一〇〇・二〇】ニュース
【一〇〇・三〇】國民歌謠（東京）
【一〇〇・四〇】ニュース
【一〇〇・五〇】ニュース
【一〇一・〇〇】ニュース
【一〇一・一〇】國民歌謠（東京）
【一〇一・二〇】ニュース
【一〇一・三〇】國民歌謠（東京）
【一〇一・四〇】ニュース
【一〇一・五〇】ニュース
【一〇二・〇〇】ニュース
【一〇二・一〇】國民歌謠（東京）
【一〇二・二〇】ニュース
【一〇二・三〇】國民歌謠（東京）
【一〇二・四〇】ニュース
【一〇二・五〇】ニュース
【一〇三・〇〇】ニュース
【一〇三・一〇】國民歌謠（東京）
【一〇三・二〇】ニュース
【一〇三・三〇】國民歌謠（東京）
【一〇三・四〇】ニュース
【一〇三・五〇】ニュース
【一〇四・〇〇】ニュース
【一〇四・一〇】國民歌謠（東京）
【一〇四・二〇】ニュース
【一〇四・三〇】國民歌謠（東京）
【一〇四・四〇】ニュース
【一〇四・五〇】ニュース
【一〇五・〇〇】ニュース
【一〇五・一〇】國民歌謠（東京）
【一〇五・二〇】ニュース
【一〇五・三〇】國民歌謠（東京）
【一〇五・四〇】ニュース
【一〇五・五〇】ニュース
【一〇六・〇〇】ニュース
【一〇六・一〇】國民歌謠（東京）
【一〇六・二〇】ニュース
【一〇六・三〇】國民歌謠（東京）
【一〇六・四〇】ニュース
【一〇六・五〇】ニュース
【一〇七・〇〇】ニュース
【一〇七・一〇】國民歌謠（東京）
【一〇七・二〇】ニュース
【一〇七・三〇】國民歌謠（東京）
【一〇七・四〇】ニュース
【一〇七・五〇】ニュース
【一〇八・〇〇】ニュース
【一〇八・一〇】國民歌謠（東京）
【一〇八・二〇】ニュース
【一〇八・三〇】國民歌謠（東京）
【一〇八・四〇】ニュース
【一〇八・五〇】ニュース
【一〇九・〇〇】ニュース
【一〇九・一〇】國民歌謠（東京）
【一〇九・二〇】ニュース
【一〇九・三〇】國民歌謠（東京）
【一〇九・四〇】ニュース
【一〇九・五〇】ニュース
【一一〇・〇〇】ニュース
【一一〇・一〇】國民歌謠（東京）
【一一〇・二〇】ニュース
【一一〇・三〇】國民歌謠（東京）
【一一〇・四〇】ニュース
【一一〇・五〇】ニュース
【一一一・〇〇】ニュース
【一一一・一〇】國民歌謠（東京）
【一一一・二〇】ニュース
【一一一・三〇】國民歌謠（東京）
【一一一・四〇】ニュース
【一一一・五〇】ニュース
【一一二・〇〇】ニュース
【一一二・一〇】國民歌謠（東京）
【一一二・二〇】ニュース
【一一二・三〇】國民歌謠（東京）
【一一二・四〇】ニュース
【一一二・五〇】ニュース
【一一三・〇〇】ニュース
【一一三・一〇】國民歌謠（東京）
【一一三・二〇】ニュース
【一一三・三〇】國民歌謠（東京）
【一一三・四〇】ニュース
【一一三・五〇】ニュース
【一一四・〇〇】ニュース
【一一四・一〇】國民歌謠（東京）
【一一四・二〇】ニュース
【一一四・三〇】國民歌謠（東京）
【一一四・四〇】ニュース
【一一四・五〇】ニュース
【一一五・〇〇】ニュース
【一一五・一〇】國民歌謠（東京）
【一一五・二〇】ニュース
【一一五・三〇】國民歌謠（東京）
【一一五・四〇】ニュース
【一一五・五〇】ニュース
【一一六・〇〇】ニュース
【一一六・一〇】國民歌謠（東京）
【一一六・二〇】ニュース
【一一六・三〇】國民歌謠（東京）
【一一六・四〇】ニュース
【一一六・五〇】ニュース
【一一七・〇〇】ニュース
【一一七・一〇】國民歌謠（東京）
【一一七・二〇】ニュース
【一一七・三〇】國民歌謠（東京）
【一一七・四〇】ニュース
【一一七・五〇】ニュース
【一一八・〇〇】ニュース
【一一八・一〇】國民歌謠（東京）
【一一八・二〇】ニュース
【一一八・三〇】國民歌謠（東京）
【一一八・四〇】ニュース
【一一八・五〇】ニュース
【一一九・〇〇】ニュース
【一一九・一〇】國民歌謠（東京）
【一一九・二〇】ニュース
【一一九・三〇】國民歌謠（東京）
【一一九・四〇】ニュース
【一一九・五〇】ニュース
【一二〇・〇〇】ニュース
【一二〇・一〇】國民歌謠（東京）
【一二〇・二〇】ニュース
【一二〇・三〇】國民歌謠（東京）
【一二〇・四〇】ニュース
【一二〇・五〇】ニュース
【一二一・〇〇】ニュース
【一二一・一〇】國民歌謠（東京）
【一二一・二〇】ニュース
【一二一・三〇】國民歌謠（東京）
【一二一・四〇】ニュース
【一二一・五〇】ニュース
【一二二・〇〇】ニュース
【一二二・一〇】國民歌謠（東京）
【一二二・二〇】ニュース
【一二二・三〇】國民歌謠（東京）
【一二二・四〇】ニュース
【一二二・五〇】ニュース
【一二三・〇〇】ニュース
【一二三・一〇】國民歌謠（東京）
【一二三・二〇】ニュース
【一二三・三〇】國民歌謠（東京）
【一二三・四〇】ニュース
【一二三・五〇】ニュース
【一二四・〇〇】ニュース
【一二四・一〇】國民歌謠（東京）
【一二四・二〇】ニュース
【一二四・三〇】國民歌謠（東京）
【一二四・四〇】ニュース
【一二四・五〇】ニュース
【一二五・〇〇】ニュース
【一二五・一〇】國民歌謠（東京）
【一二五・二〇】ニュース
【一二五・三〇】國民歌謠（東京）
【一二五・四〇】ニュース
【一二五・五〇】ニュース
【一二六・〇〇】ニュース
【一二六・一〇】國民歌謠（東京）
【一二六・二〇】ニュース
【一二六・三〇】國民歌謠（東京）
【一二六・四〇】ニュース
【一二六・五〇】ニュース
【一二七・〇〇】ニュース
【一二七・一〇】國民歌謠（東京）
【一二七・二〇】ニュース
【一二七・三〇】國民歌謠（東京）
【一二七・四〇】ニュース
【一二七・五〇】ニュース
【一二八・〇〇】ニュース
【一二八・一〇】國民歌謠（東京）
【一二八・二〇】ニュース
【一二八・三〇】國民歌謠（東京）
【一二八・四〇】ニュース
【一二八・五〇】ニュース
【一二九・〇〇】ニュース
【一二九・一〇】國民歌謠（東京）
【一二九・二〇】ニュース
【一二九・三〇】國民歌謠（東京）
【一二九・四〇】ニュース
【一二九・五〇】ニュース
【一三〇・〇〇】ニュース
【一三〇・一〇】國民歌謠（東京）
【一三〇・二〇】ニュース
【一三〇・三〇】國民歌謠（東京）
【一三〇・四〇】ニュース
【一三〇・五〇】ニュース
【一三一・〇〇】ニュース
【一三一・一〇】國民歌謠（東京）
【一三一・二〇】ニュース
【一三一・三〇】國民歌謠（東京）
【一三一・四〇】ニュース
【一三一・五〇】ニュース
【一三二・〇〇】ニュース
【一三二・一〇】國民歌謠（東京）
【一三二・二〇】ニュース
【一三二・三〇】國民歌謠（東京）
【一三二・四〇】ニュース
【一三二・五〇】ニュース
【一三三・〇〇】ニュース
【一三三・一〇】國民歌謠（東京）
【一三三・二〇】ニュース
【一三三・三〇】國民歌謠（東京）
【一三三・四〇】ニュース
【一三三・五〇】ニュース
【一三四・〇〇】ニュース
【一三四・一〇】國民歌謠（東京）
【一三四・二〇】ニュース
【一三四・三〇】國民歌謠（東京）
【一三四・四〇】ニュース
【一三四・五〇】ニュース
【一三五・〇〇】ニュース
【一三五・一〇】國民歌謠（東京）
【一三五・二〇】ニュース
【一三五・三〇】國民歌謠（東京）
【一三五・四〇】ニュース
【一三五・五〇】ニュース
【一三六・〇〇】ニュース
【一三六・一〇】國民歌謠（東京）
【一三六・二〇】ニュース
【一三六・三〇】國民歌謠（東京）
【一三六・四〇】ニュース
【一三六・五〇】ニュース
【一三七・〇〇】ニュース
【一三七・一〇】國民歌謠（東京）
【一三七・二〇】ニュース
【一三七・三〇】國民歌謠（東京）
【一三七・四〇】ニュース
【一三七・五〇】ニュース
【一三八・〇〇】ニュース
【一三八・一〇】國民歌謠（東京）
【一三八・二〇】ニュース
【一三八・三〇】國民歌謠（東京）
【一三八・四〇】ニュース
【一三八・五〇】ニュース
【一三九・〇〇】ニュース
【一三九・一〇】國民歌謠（東京）
【一三九・二〇】ニュース
【一三九・三〇】國民歌謠（東京）
【一三九・四〇】ニュース
【一三九・五〇】ニュース
【一四〇・〇〇】ニュース
【一四〇・一〇】國民歌謠（東京）
【一四〇・二〇】ニュース
【一四〇・三〇】國民歌謠（東京）
【一四〇・四〇】ニュース
【一四〇・五〇】ニュース
【一四一・〇〇】ニュース
【一四一・一〇】國民歌謠（東京）
【一四一・二〇】ニュース
【一四一・三〇】國民歌謠（東京）
【一四一・四〇】ニュース
【一四一・五〇】ニュース
【一四二・〇〇】ニュース
【一四二・一〇】國民歌謠（東京）
【一四二・二〇】ニュース
【一四二・三〇】國民歌謠（東京）
【一四二・四〇】ニュース
【一四二・五〇】ニュース
【一四三・〇〇】ニュース
【一四三・一〇】國民歌謠（東京）
【一四三・二〇】ニュース
【一四三・三〇】國民歌謠（東京）
【一四三・四〇】ニュース
【一四三・五〇】ニュース
【一四四・〇〇】ニュース
【一四四・一〇】國民歌謠（東京）
【一四四・二〇】ニュース
【一四四・三〇】國民歌謠（東京）
【一四四・四〇】ニュース
【一四四・五〇】ニュース
【一四五・〇〇】ニュース
【一四五・一〇】國民歌謠（東京）
【一四五・二〇】ニュース
【一四五・三〇】國民歌謠（東京）
【一四五・四〇】ニュース
【一四五・五〇】ニュース
【一四六・〇〇】ニュース
【一四六・一〇】國民歌謠（東京）
【一四六・二〇】ニュース
【一四六・三〇】國民歌謠（東京）
【一四六・四〇】ニュース
【一四六・五〇】ニュース
【一四七・〇〇

官選の内示待望

各地祕かに出陣の氣構へ

輪作は州是

本島人議員の"責任云々"に對し 松岡知事時局を強調

嘉義【嘉義電話】嘉義市は元日前頃に於ける義務市の樹勢依條として官選決定の發表とこれに關聯して選舉熱を手傳つてゐた各種の人物では官派側から新人側に轉向するものが現在内地人側の陣營を打つた張色鮮明の阿氏に次ぐ實業家代表を自任する福原武彦氏、庄野現議員の後を繼承する田村榮二郎氏の出馬は愈よ確定的にして外に勢力線上を去來する者に現役議員と新興實業者の合流で擁せられる松林一氏、林商會を背景とする大木益三郎氏と實業家太郎の二者があり更に官選、民選の二派に對して官選決定後の樹勢は出色の作である又本島人側では現役議員七名中、第二廻江東、林拇三氏の後退が想像されて殘る四氏の再出馬の外に新顏の許、邱兩氏、吳水盛氏と新顏は陳半進、朱榮發、陳安淵、施天福、蘇發發、葉秀富諸氏の出馬が漸次確定性を加へつゝあるが現日の初選と共にキヤスチングボートを握らんと虎視眈々たるの二三者を擁して愈最後の決戰は出色の作である

嘉義市の二派に對する官選、民選の樹勢の消長は實に微妙、伊藤知事現役議員の後援會は陳半進、朱榮發、陳安淵、施天福、蘇發發、葉秀富諸氏の出馬が漸次確定性を加へつゝあるが現日の初選と共にキヤスチングボートを握らんと虎視眈々たるの二三者

野醫夕助、林瓦葡、農務局、張振茂、甘阿炎の十氏あたりらしく、民選十名の椅子をめぐつては中山文男、邱有才、林以士、蘇爾聞、林榮吉の五氏は既に出馬の旗色を鮮明にして居り、移務關係中のものは伊藤保作、田中忠一、石原忠忠榮次郎二氏の出馬は愈よ確定的にして外に勢力線上を去來する者に現役議員と新興實業者の合流で擁せられる松林一氏、林木商會を背景とする大木益三郎氏と實業家太郎の二者があり更に官選、民選の二派に對して官選決定後の樹勢は出色の作である（四大州フランス總一九八頁一・六〇東京市四谷區北伊賀町二一番地）

◆神々の愛（谷川彼吉著）農村を題材に人間生の深刻なテーマ（一九八頁）

内地人側の氣構へ

期成同盟會 結成式

理想選擧を目差し

【東港電話】高雄州東港街では今回の第二回臨方議員の選舉に際し理想選舉の完遂を期すべく左記日割改選所に於て各區の有權者を集めて苗案作に於ける有權者の參集を求め百名近參千住より夫々選舉區の講演があつた

苗栗で講演會 新竹州苗栗郡役所に於ては今次市街庄協議會員の選舉に際して明朗且つ理想的なる選舉を期する爲め左記日割にて苗栗郡下有權者に對して、各地に於ける講演會を開催することゝなつた

苗栗 三日、四日兩日午後一時より開催

公館 三日、四日兩日午後七時より開催

大湖 三日午後一時より開催

三灣 三日午後七時より開催

銅鑼 四日午後一時より開催

頭屋 四日午後七時より開催

竹南 五日午後一時より開催

後龍 五日午後七時より開催

有權者を訓練

新竹州苗栗郡役所管下各市街庄協議會員選舉取締期間の區長會議を開き爲めの選舉取締に關する打合せを爲すと共に、各區の有權者に對する選舉思想の涵養に關する講演會を開催することゝなつた、本年八月總督府令を以て市街庄協議會員選舉規則の一部が改正せられ、從來一年間の勤續後の時々に於ける選舉を以て本年一月一日現在に於ける一年間の勤續後の時々に於ける選舉を以て改正されたが

（第三種郵便物認可）

家庭の頁

お産と…ヴイタミン

妊娠前期

胎兒がヴイタミンを要求する量は、我等成人の想像よりも遙かに多大で、このヴイタミンを體内に適當な量に取り入れるのですから、世間にヴイタミンの缺乏症が殆んどないと赤ちゃんの健康な發育に關係があるばかりでなく、お腹の母乳もヴイタミンが缺乏したり、體が弱くなったまま風邪を引くとか、咳嗽等の病氣に罹り易くなるなどの危險があります。ですから妊娠中はなるべく多くヴイタミンを攝取しなければなりません。即ち妊娠中は特別の場合を除く外は、常に體内にヴイタミンが缺乏しないやうにしなければならないのであります。

ヴイタミンの中でも特別に必要なのが緑黄色野菜に含まれるヴイタミンAとDで、妊娠期にヴイタミンAとDをたつぷり攝ることを忘れてはならないのであります。

ところが妊娠初期にはつわりのために食慾が乏しく、緑黄の野菜とくに葉菜を食べさせることが困難であるといふことになり勝ちであります。

このヴイタミンADの補給に最も適當に利用されてゐるのが、理研製品「理研ヴイタミン」であります。

妊娠後期

妊娠六ヶ月後期から妊娠後半期になりますと、お腹の赤ちゃんの發育は益々盛んになつて、一ヶ月に四〇〇瓦から一キロ近くも體重が殖えて行きます。それと一緒に母體から胎兒へ目四んだり小腸やリンパが殖えるから、腹ふとく腹が缺けたり、動悸が激しくなつて來ますのでヴイタミンAやDが益々必要になつて來ます。從つてこの時期にヴイタミンの補給が缺かつたり、不足したりすると、胎兒の發育に影響を及ぼし、母體の健康を害する危險が大となります。またヴイタミン不足の結果は流産や死産の原因にもなり、一生の健康を阻害されるに到るのであります。

御存知の姙婦食

姙婦が出産に於て失われる血液は約二千瓦といはれます。この一部分だけでも出産後に於ける體力の恢復に影響するから勿論それ以上に體力を消耗させてはならぬといふ二重の注意が必要となつて來ます。

前項

でも述べましたがヴイタミンADは日本人の日常の食品中には最も缺乏し勝ちな榮養素でありますから、ヴイタミンADを充分に攝るために理研から發賣されてゐる純ヴイタミンADの榮養劑「理研ヴイタミン」が推薦されて居ります。本劑はヴイタミンADの含有量も非常に豊富で、しかも味が良いとか、飲み易いとか、下痢を起すとかいふ缺點が全くなく、誰でも安心して服用出來る點が好評を博してゐます。

服み方

ヴイタミンADの含有量が非常に豊富で、理研製品中でも最も優秀なものであります。

産後

引き續き「理研ヴイタミン」を服用しますと、お乳の質やお乳の出る量が著しく增加するのは勿論のこと、自然と母乳も甚だ良いものとなりますから、赤ちゃんの發育が著しく一層の効果があります。殊にヴイタミンADは、新陳代謝を旺んにする作用がありますので、本劑を飲んでゐますと、血色が良くなつて、從つて元氣が出て來ます。姙娠中から「理研ヴイタミン」の常用と榮養姙婦としての心掛けが大切であります。

流産を輕く見るべからず

姙娠は胚胞姙婦さんや醫師の手を借りずに濟むことがあるからといつて輕く見るのは大變間違もとです。姙娠の出發點からヴイタミンが大切であります。

食物を制限するべからず

古い姙婦から、あれは食べてはいけない、これは食べない方がよいなどと制限する場合がありますが、これは大變間違です。姙娠中は榮養を攝らなければ胎兒は育ちません。

風邪や咳を放置すべからず

姙娠中の風邪や咳は流産の原因を醸します。姙婦がひどく永引くときは流産を經くことがありますから、輕く見て放置するのが最も危險な方法です。

こんな時期に旅行すべからず

姙娠四ヶ月までと姙娠八ヶ月から八ヶ月までが一番安全です。お産の豫定の姙娠は十ヶ月の始めが最も良い。

姙婦べからず集

新時代の

姙娠の大敵となる病氣は今も昔も變りません。古い迷信的なことは捨て去り、姙娠中は常に愉快に暮らすことです。それが自然胎兒の爲にもよく、又良い子を安産する結果になります。

承認を得ずして

胎教を無視するべからず

絶對安靜を輕視すべからず

カルシウムの缺乏

カルシウムの化學作用を完全にする爲には更にビタミンが要るといふ點に、姙婦とビタミンの關係が深つても切れないものであります。このビタミンの中でも特別に必要なのが緑黄色野菜に含まれるヴイタミンAとDで、姙娠期にヴイタミンAとDをたつぷり攝ることを忘れてはならないのであります。

ところが姙娠初期にはつわりのために食慾が乏しく、緑黄の野菜とくに葉菜を食べさせることが困難であるといふことになり勝ちであります。

このヴイタミンADの補給に最も適當に利用されてゐるのが、理研製品「理研ヴイタミン」であります

毎日二粒

理研

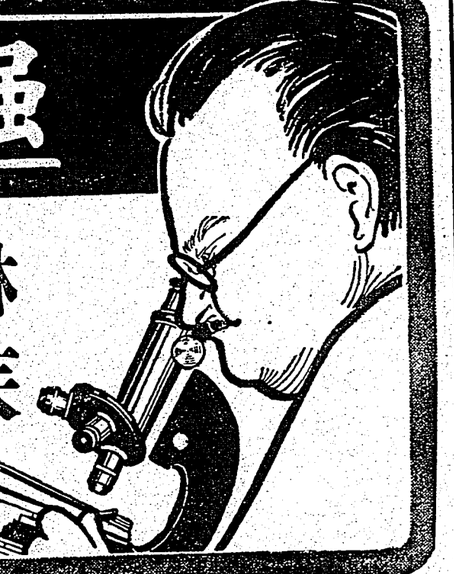
別要榮の研理

ンミタィウ

沖服藥

強力リベール錠

強利比兒



淋疾

●初期發明の化學劑は

すでに舊きに屬す

淋疾化學治療劑として最初發表せられたるパラアミノベンツオールヅルフオンアミド劑（ズルフアミン）は當時淋疾治療の決定藥の如く歡迎せられたるも諸種感者による臨床實驗の結果左の如き幾多の缺陷あるを發見せり

一、慢性淋疾に對し其効果に不滿あり
一、浮游淋絲の消失を期待し難し
一、食慾不振・嘔吐感・全身倦怠・發熱發疹・心臟衰弱等の副作用あり

●第二期的發明による

完全治療劑の出現

右に鑑み更に眞劍なる研究が續けられ遂に殺菌力は特に强く以前に數倍し而も何ら副作用なき二基性ズルフオンアミド劑を完成せり。强力リベールはこの最高級化學劑を主劑とし更に他の藥劑を臨床實驗の上配劑せる故に藥物相乘作用に依る其効果は一段と强化され急性慢性淋疾の快速なる徹底根治は勿論最も難治とされたる婦人淋疾にありても短期に全癒せしむるは、待望久しかりし理想の實現として治療界に愈激な第二期的躍進を見るに至つた

●强力リベール

突擊療法の快速治療

淋病に對する痛切なる要求は治療期間の短縮である、此點强力リベールの突擊療法を行ふことが尤も理想的にて効果極めて速し。即ち血液の循環を利用し全身の淋毒素を盡く除去し六時間後には尿中に反應現はれ十八時間後には其濃度最高頂に達し連續的に病巢深層部の淋菌を殺菌全滅せしめる故に服藥翌日より尿は清澄となり二日目より止痛、止痛、淋炎と最も快速施實な治療經過を辿る事が報告されてゐる惡質慢性症に對しては極めて强烈な突擊殺菌作用を發揮するが故に罹病後十數ケ年の永き頑固性淋疾に對しても實に敏速適確に短期治療の目的を達すことが大切であります。

治療藥アイフには病源、對症二重に働く作用があり、主藥が胃腸內壁の病變部に沈着して炎症を癒やし、粘膜を强め、弛緩を引緊め、分泌や運動機能の異常を整へると共に、腸管內の有毒物質を吸着して體外に排出する等廣汎な病源治療を營み、併せて胸やけ、噯氣、惡心、胃痛、腹痛、下痢、便秘、嘔吐、消化不良、食慾不振等の諸症狀をも消退して體力、氣力を增進せしめ、榮養を昂め、機能の恢復を速めますから、榮養を昂め

【適應症】

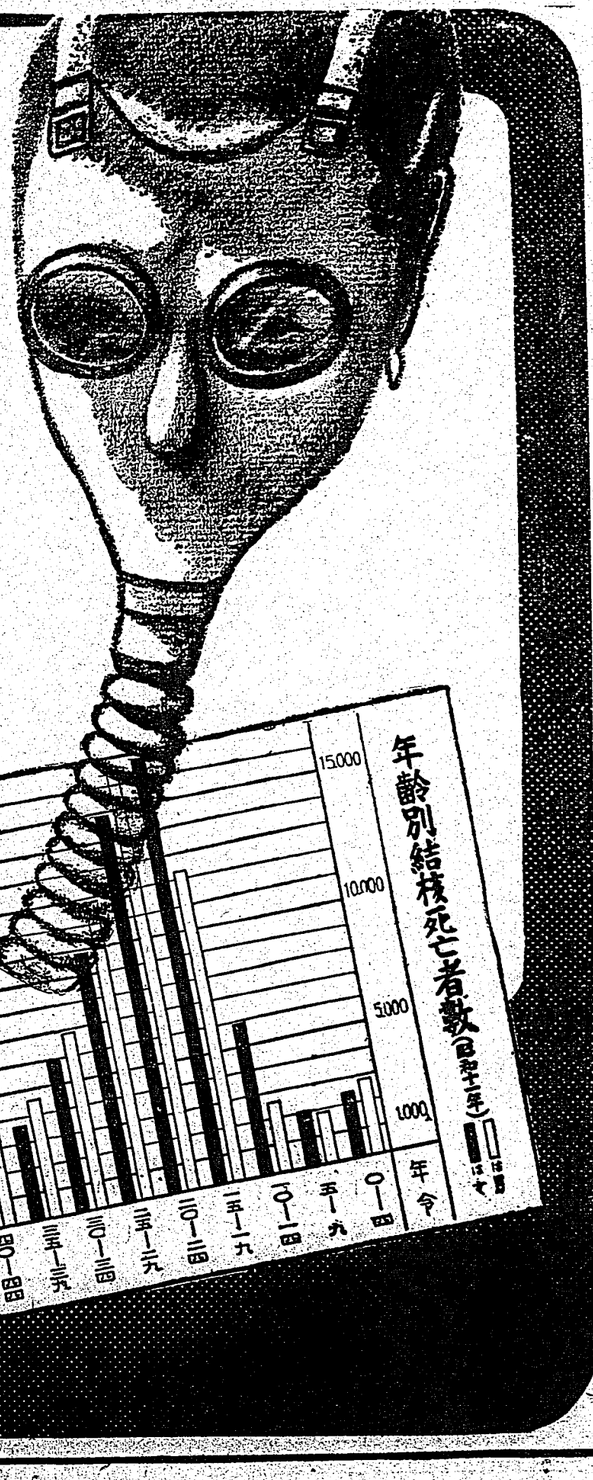
急性淋疾・慢性淋疾・副睾丸炎
淋菌性腱鞘炎・子宮內膜炎
尿道炎・腎盂炎・丹毒・敗血症

藥價　三圓　五圓　二十圓

大阪市東區南久太郎町二
本舖竹村製劑所
振替大阪三六〇番

各藥店にあり

病腸胃と防豫核結



現在の社會生活において結核菌の感染を完全に防止することは不可能に近い……としたら、結核豫防の要訣は抵抗力の增强による發病防止でなければなりません。

事實、文明都市の市民は小學校を終る頃までに過半數が結核に感染して居り、社會に出て青年期を終る頃までに大部分が感染してしまつてゐるといふことが、ツベルクリン反應の檢査によつて證明せられてゐるのであります。ところが、その中發病するものは僅かに五パーセントに過ぎず、二十人中十九人までが發病を防止し得てゐるといふことは、抵抗力による結核防遏の手段の猶殘されてゐることを雄辯に物語るものでありまして、われ〳〵はこの怖るべき國民病撲滅のために、何を措いてもまづ體力の增進、强化を計るべきであります。

體力を養成するには完全な榮養、適度の運動と休養、日光、外氣の吸收等、衞生生活の保持向上に俟たねばならないのは勿論でありますが、同時に榮養の根源をなす胃腸の强化を一日も怠にすることは出來ません。胃腸の機能さへ旺盛であれば榮養を上乘の狀態に保ち得るばかりでなく、全身の抵抗力をも昂めて病菌の侵入、發病をも容易に防ぎ得るのであります。ですから、食慾不振、消化不良、便通不整等、胃腸障害の潛在を疑はれるやうな場合、速かに治療藥アイフを服用して適切、周到なる治病工作を施すことが大切であります。

治療藥アイフには病源、對症二重に働く作用があり、主藥が胃腸內壁の病變部に沈着して炎症を癒やし、粘膜を强め、弛緩を引緊め、分泌や蠕動機能の異常を整へると共に、腸管內の有毒物質を吸着して體外に排出する等廣汎な病源治療を營み、併せて胸やけ、噯氣、惡心、胃痛、腹痛、下痢、便秘、嘔吐、消化不良、食慾不振等の諸症狀をも消退して體力、氣力を增進せしめ、榮養を昂め、機能の恢復を速めますから、榮養を昂め

慢性胃腸病はアイフ

藥價　四日分　七十五錢・八日分　一圓五十錢
十七日分　三圓・銀器には加減アイフ
五圓・十圓・十五圓・三十圓
官廳用發賣

▼全國到る處の有名藥店にあり▲

發賣本舖　順和商會
大阪市東區清水谷西之町
振替大阪三五〇〇二・五〇〇三番
支店　東京市本郷區湯島天神町九番地
大連市山縣通九八番地

御愛馬白雪に召され
裾野原を御巡視
光榮の近衞師團演習

【御殿場八日發同盟】戰線に續り開けられる近衞師團演習を天覽あらせられる

大元帥陛下には八日早朝八時十五分御殿場發特別御召列車にて御用邸御門、御殿場驛より自動車數臺にて沼津離宮の地方民に御會釈を賜ひつつ同九時三十分 秩父宮殿下、閑院宮參謀總長殿下、畑陸相、山田教育總監殿下、議會關係の奉迎を受けさせられて練兵場内に設けられた御野立所に御着、直ちに御乘馬にて御出

天覽の光榮に浴し
スポーツ界に活力漲る

第十回明治神宮国民体育大會の本大會と言ふべき秋季大會は去る十月廿九日から開催し、十一月三日を以て六日間に亘る盛況な日程を終了したが、この間全国からすぐられた四万の若人と観覧して明治神宮外苑を中心に市内外約三十ケ所の水陸競技場に歓気と力の總戰を展開し、二日の全国一斉放送を聴んで東京を中心に全国津々浦々を動員、国民的日本の意気を力強く印象し、体育日本を謳歌した、殊にも感激も盛況も成功を見て體育界の大會史上に一大金字塔を樹てたと言ふも過言ではない、いまこれらに就き概観してみよう

▲大會の運營　陸海對抗競技と二十二競技を網羅する彪大な規模の大會が日を追つて円滑に進捗し盛会裡に終始せられるのを目の辺りに見た原作常局は大會實現面から民間關係各團體の協力によつて初めて成功し得るものであることを痛感したであらう、從つて今回の成功により將來原作當の力一つでなく何うにでも成ると言ふ危險な自負心を抱く處はよもや有るまいと思はれるが、今後は一層競技關係の協力を得て官民一致の實を擧げる様特に留意しこれを精神的に高揚なる様べきである。

▲ブログラムの檢討　大會目標中、スポーツ、武術等のプログラムは從來の體驗に基いて作られたのであるが、なほ各團體に於て檢討すべき點が有るら、最も考慮を要するものはデモンストレーションで、その美的感と興奮性に訴へる精神的效果は頗る大きいからその取捨選擇及び配合には特に注意を要する、この意味で天覽競技に於ける大日本青年體操、大日本女子青年體操などの集團體操は何れも十數回に亘り數度時間を超過してゐたがと言ひ、或ひは少年團の喇叭鼓隊の長演奏など何れも觀衆に飽きられて了つた、主催競技團の常識は特に觀衆關係當に鑑り切つて最も重要であるこの點プログラムの構成には最も大膽が必要な事を痛感させられた

▲大會の優勝者　天覽の榮に浴した十一競技關係者並に出場選手の感激はもとより我が全スポーツ界は眞に歴史的意義に輝き國民體育御奬勵の實を擧し何ものにも代へ難き感激の活力を與へられた、大會と競技を通觀すれば天覽競技の最高演技にもとより陛下、國體奉の世界新記録を初め數十部門二競技の運行も一部を除いては円滑に進捗して四万の選手は全力を振つて競ひ盛国體育の實を擧げると共に原作者が特に重視した開、陸會式を中心とする式典も成功を見て體育的效果も頗る顯著なものがあり、政府主管競技の大會として大きな業績を收めたことは慶賀してよからう

▲陸海軍の國家的體育行事を擴充して　ゆくゆくは國民生活の一部として國民體育の實を擧げると共に原作者はなほ種々改善し補充すべき多くの課題をも與へられた、いまこれらに就き概觀してみよう

▲大會の運營　競技對抗競技二十二競技を網羅する彪大な規模の大會が日を追つて円滑に進捗し盛会裡に終始せられるのを目の辺りに見た原作常局は大會實現面から民間關係各團體の協力によつて初めて成功し得るものであることを痛感したであらう、從つて今回の成功により將來原作當の力一つでなく何うにでも成ると言ふ危險な自負心を抱く處はよもや有るまいと思はれるが、今後は一層競技關係の協力を得て官民一致の實を擧げる様特に留意しこれを精神的に高揚なる様べきである。

▲プログラムの檢討　大會目標中、スポーツ、武術等のプログラムは從來の體驗に基いて作られたのであるが、なほ各團體に於て檢討すべき點が有るら、最も考慮を要するものはデモンストレーションで、その美的感と興奮性に訴へる精神的效果は頗る大きいからその取捨選擇及び配合には特に注意を要する、この意味で天覽競技に於ける大日本青年體操、大日本女子青年體操などの集團體操は何れも十數回に亘り數度時間を超過してゐたがと言ひ、或ひは少年團の喇叭鼓隊の長演奏など何れも觀衆に飽きられて了つた、主催競技團の常識は特に觀衆關係當に鑑り切つて最も重要であるこの點プログラムの構成には最も大膽が必要な事を痛感させられた

全臺學生劍道選手權
來る十九日高商道場で

全臺高等学生劍道聯盟の第五回選手權大會に來る十九日午前九時より高商道場に於て開催される、參加校は他種に決定されないが、聯盟加盟校の醫專、醫校、台商、台工、高校、高商の五校は何れも參加する筈で各校より選ばれた第十五十名が全島學生界の王座を目指して劍光火花を散らす劇戰が期待される

神宮大會の優勝者 (2)

▲庭球
一般男子シングルス
木村晴雄、細川昭（關東庭球大會）
一般男子ダブルス
木村晴雄、細川昭（關東庭球大會）
中等學校シングルス
川副浜彦（關西中國出）
中等學校ダブルス
前沢勝哉、平光正一（關西京都）
一般女子シングルス
岩本薫（關西日本生命）
一般女子ダブルス
加茂節子、加茂幸子（關東田園）
壯年者シングルス
人見二郎（關西中京商）
壯年者ダブルス
古田七郎、岩田輝太（東京名古屋）
▲軟式庭球
府縣對抗男子中等校
（關東代表）
女子を國體技
（東京日本女子選手權）
府縣對抗女子
佐賀縣（東京カフヨ、池田園子
峯井幸子、内田ヤヱ子、松浦春野、栗田敦子）
男子中等校を國體技
（東京日本男子中等選手權）
關東代表、宮大進（東京）（北工）
女子を國體技
（東京日本女子選手權）
相原チエノ、池田富美（東京淑徳）
男子壯年者國體技
（東京日本生命選手權）
田中義雄、金井徳治（東京自治會）

試合日取を延期
全島籠球選手權大會

【台南電話】全島籠球選手權大會は去る一日の總務會に於て來る十二月二、三兩日と決定したがその後關係各部より管内は北部各中學校の學期試驗に當るため延期方申越に依り九、十兩日に變更決定された

日米拳闘引分け
大熱戰の末各一勝一分

【東京八日發國聞】アメリカサンノゼ大學選手を迎へた日米學生對抗戰は七日夜水道橋後樂園スタジアムで挙行されたが共に二、五点の引分けに終つた、成績左の通り
【ハンター級】
芳賀（慶大）判定 ビル（サンノゼ）

【フェザー級】
コンラッド・レーシー（判定）金（日大）
【ライト級】
桑田大二（判定）トン・テーラー（二回一分二十秒）
【ウエルター級】
ジェームス・キンケード（判定）芦（日大）
【ウエルター級】
ジェームス・キンケード（判定）芦（日大）
【ミドル級】
ヘンリー・ツイン（判定）ビル（サンノゼ）

體育報國章
體協も推薦に參加

日本運動競技者團體會は四日大阪市大阪府體育協會内に於て昨年度體育界功勞者大阪日報株式會社體育協會代表片岡重方氏に對して體育運動報國章の授與式を擧行したが、更に本年度功勞者推薦に關して體育協會の結果本年度推薦はこれを機く運動界各方面から受けることに決定、取敢ず大日本體育協會に於ては十七の方面がスソ明きであるから他にならない四名ならず四百一に依つて目が右邊から中央へ出現された現在、次に黒から百六に打たれると中央が大きく地になるから、白百一ニヒツキヤタ迄で黒に「ノ十」のヲケに依る切斷を先手に防いで百四百六と中央に進出し、右邊を黒の勢力に壓迫したのは、當然であり肩は當然の勢いであるが、斯くして形勢は著しく差違化した感がある

白中央を侵略すれば
黒右邊を完膚なき迄に蹂躙

評解 七段 加藤信

（第六局ノ九）

白百一に對して黒はなほ百六に受けても困らないから、白百一と打つて行つたのである、白としても百四で百十五にトンで受けた迄で、右邊は百十七の方面がスソ明きであるから他にならない四百ならず黒百一に依つて目が右邊から中央への進出を阻まれた現在、次に黒から百六に打たれると中央が大きく地になるから、白百一ニヒツキヤタ迄で黒に「ノ十」のヲケに依る切斷を先手に防いで百四百六と中央に進出し、右邊を黒の勢力に壓迫したのは、當然であり肩は當然の勢いであるが、斯くして形勢は著しく差違化した感がある

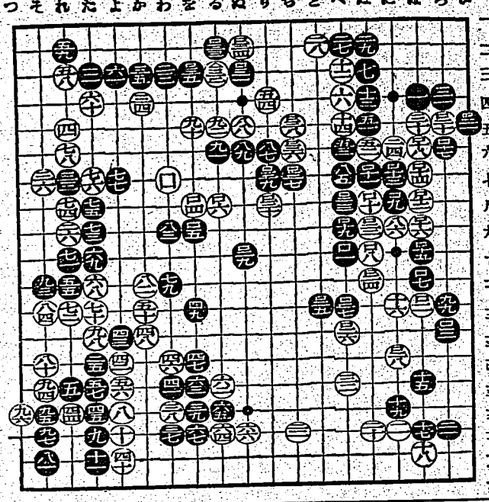
◇白が百と打つた以上、右邊と中央の兩に於ての爭いになるのは、必至の情勢に在るのである、黒は百七以下と右邊を完膚なきに蹂躙したがこれは百も無論最善の上である、白百一二五には絶對の連打で、黒は百六へ百七の處はない

（解説）黒百二九と「ケイマ」白百一二七のトビと受けたのは如何、現在の局勢を具さに觀察する黒は、中央を百七に打つさせられば、即ちである狀態にある、だから黒百二九ではなく百二七にトビ、白百ノ九にヤガつた時、黒「リ十七」と打つ

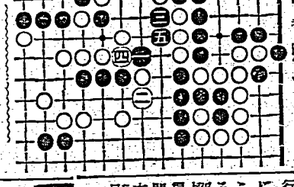
◇白が百と打つた以上、右邊と中央の兩に於ての爭いになるのは、必至の情勢に在るのである、黒は百七以下と右邊を完膚なきに蹂躙したがこれは百も無論最善の上である、白百一二五には絶對の連打で、黒は百六へ百七の處はない

（解説）黒百二九とケイマし白百一二七のトビと受けたのは如何、現在の局勢を具さに觀察する黒は、中央を百七に打つさせられば、即ちである狀態にある、だから黒百二九ではなく百二七にトビ、白百ノ九にヤガつた時、黒「リ十七」と打つ

【第六局ノ九】
白一ニヒ十二 ○四ヒ八 ○五ヒ六 ○六ヒ八 ○七ヒ八 ○八ヒ十一 ○九ヒ八 ○一ニヒ七 ○二ニヒ七 ○三ニヒ七 ○四ニヒ九 ○五ニヒ六 ○六ニヒ八 ○七ニヒ八 ○八ニヒ七 ○九ニヒ七 ○一ヨヒ七 ○二ヨヒ六 ○三ヨヒ九 ○四ヨヒ六 ○五ヨヒ十 ○六ヨヒ十四 ○七ヨヒ十一 ○八ヨヒ十一 ○九ヨヒ八 ○一四ヒ八 ○二四ヒ六 ○三四ヒ六 ○四四ヒ六 ○五四ヒ六 ○六四ヒ五
黒百ニ七 ○三ニヒ七 ○四ニヒ九 ○五ニヒ六 ○六ニヒ八 ○七ニヒ八 ○八ニヒ十 ○九ニヒ八 ○一ニヒ七 ○二ニヒ七 ○三ニヒ七 ○四ニヒ九 ○五ニヒ六 ○六ニヒ八 ○七ニヒ八 ○八ニヒ十 ○九ニヒ八 ○一ヨヒ七 ○二ヨヒ六 ○三ヨヒ九 ○四ヨヒ六 ○五ヨヒ十 ○六ヨヒ十四 ○七ヨヒ十一 ○八ヨヒ十一 ○九ヨヒ八 ○一四ヒ八 ○二四ヒ六 ○三四ヒ六 ○四四ヒ六 ○五四ヒ六 ○六四ヒ五
白一ニヒ十二 ○四ヒ八 ○五ヒ六 ○六ヒ八 ○七ヒ八 ○八ヒ十 ○九ヒ八 ○一ニヒ七 ○二ニヒ七 ○三ニヒ七 ○四ニヒ九 ○五ニヒ六 ○六ニヒ八 ○七ニヒ八 ○八ニヒ十 ○九ニヒ八 ○一ヨヒ七 ○二ヨヒ六 ○三ヨヒ九 ○四ヨヒ六 ○五ヨヒ十 ○六ヨヒ十四 ○七ヨヒ十一 ○八ヨヒ十一 ○九ヨヒ八 ○一四ヒ八 ○二四ヒ六 ○三四ヒ六 ○四四ヒ六 ○五四ヒ六 ○六四ヒ五
黒百ニ七 ○三ニヒ七 ○四ニヒ九 ○五ニヒ六 ○六ニヒ八 ○七ニヒ八 ○八ニヒ十 ○九ニヒ八 ○一ニヒ七 ○二ニヒ七 ○三ニヒ七 ○四ニヒ九 ○五ニヒ六 ○六ニヒ八 ○七ニヒ八 ○八ニヒ十 ○九ニヒ八 ○一ヨヒ七 ○二ヨヒ六 ○三ヨヒ九 ○四ヨヒ六 ○五ヨヒ十 ○六ヨヒ十四 ○七ヨヒ十一 ○八ヨヒ十一 ○九ヨヒ八 ○一四ヒ八 ○二四ヒ六 ○三四ヒ六 ○四四ヒ六 ○五四ヒ六 ○六四ヒ五
持時間各十一時間一分負時間 一五時一九分 一五時一五四分



参考 図(一)



参考 図(二)

○黒ヌグ ●十二ヌグ

幸日澳詩壇

選者 魏清徳

漫吟 錦一 孝原 東學
旋山 夸谷 種瓜 初乃 見目 百家 笑
書餘 清世 偽 挨書 夢 我詩
笑 擬 睦中 書
努 廣 秋若 書 雀 辰入 賞
話題 王了 庵

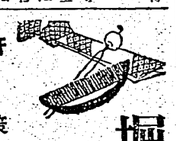
堂皇 書 雀 辰 中州 錦 場中第一流 年少 夏 笑 美詩品 発庵 三絶 挨 俊

堀部安兵衛
一龍齋貞山演
矢島健三畫

(92)

策（十一）

妊娠、おくにの親子は堀部の親切に感を流さんばかりに喜んで、そのまま家に居介になる事になりました、さて安兵衛は醫者をつけまして、介抱をいたしましたから流石の大病人も一日一日と快くなつて參りまして、間もなく元の體となつた、そこで安兵衛は金子を良へて暇をやりましたから親娘は大いに喜び三軒九軒して尾崎村へ立帰つて元の百姓となり、その後は年貢も滞りなく納めて、その後は年貢も滞りなく納めて生活も樂になりました、イヤ之がどうも大體安兵衛の志に快くなつて參りまして、間もなく元の體となつた、そこで安兵衛は金子を良へて暇をやりましたから親娘は大いに喜び三軒九軒して尾崎村へ立帰つて元の百姓となり、その後は年貢も滞りなく納めて生活も樂になりました。イヤ之がどうも大體安兵衛の志に快くなつて參りまして、間もなく元の體となつた、そこで安兵衛は金子を良へて暇をやりましたから親娘は大いに喜び三軒九軒して尾崎村へ立帰つて元の百姓となり、その後は年貢も滞りなく納めて生活も樂になりました。イヤ之がどうも大體安兵衛の志に



妊娠

安「どうしても辞退ぐと云ふ父の言葉に「それでは何父さん背負ひませう、サアシカリ肩へお掴りなさい」と藏作の手を取つて、嬉々くに仁王立ちに突立つたのは安兵衛武藏

安「コレ〳〵泣等何處へ參るのだ」

くに「ハイ〳〵」

安「二階の利かぬ病人を背負つて何處へ行くのだ」

くに「ハイ」

安「何時迄ひをいたすな、今その大病人に引背負つて何所へ立退くと云ふのだ、折角安兵衛が心を盡して呉るのが判らんか、遠慮になるまで何處へも參つては相成らん」

くに「看病に伺ひます、誠にお志は恐れいたしまん、有難くは伺しますが、私共親娘が御當家へ參つて居りまするやうな事でもあつては……」

安「イヤ決してそんな心配を致すな、武士といふものは意地がある此方に伺しい事がなければ、何んの構ふる事もない、又何に遠慮を立てようとも、義の道を踏んで居る以上構ふことはない、心配せずに安心して當家に住まつたが宜い……ずア左様か、神經質五郎が參つて看病室を取調べたか、何も看病室の身に及ぼす事でもない、決して〳〵心配には及ばん、安心して當家で御まで身體を養生、そして當家で御まで身體を養生、そうした事かありましては、相済みません、御安心に思い給でも立つて旦那様の御厄介に拘はりまするやうな事でもあつては……」

安「イヤ決してそんな心配を致すな、武士といふものは意地がある此方に伺しい事がなければ、何んの構ふる事もない、又何に遠慮を立てようとも、義の道を踏んで居る以上構ふことはない、心配せずに安心して當家に住まつたが宜い……ずア左様か、神經質五郎が參つて看病室を取調べたか、何も看病室の身に及ぼす事でもない、決して〳〵心配には及ばん、安心して當家で御まで身體を養生、そして當家で御まで身體を養生、そうした事かありましては、相済みません、御安心に思い給でも立つて旦那様の御厄介に拘はりまするやうな事でもあつては……」

何事もなく百日餘程經過上屋敷へ御歸者になりましたら、安兵衛も相變らず御藥公人の上に勤めて居りまするに、元祿十四年の春となつた、茲に淺野家の御家の大變、内匠頭殿が無念の御生害を遂げやうな大事が起りました——元祿將軍綱吉公といふ御方の御側役柳澤吉保と申しまして誠に御運の良い人で一位といふ位を與いた、露含の院樣並樣子といふ女夫、二位でございまして鎌倉の二位の尼といふ、柳澤吉保は山城國山崎の在生命寺村の八百屋四郎右衛門の娘に生けられた元祿將軍綱吉といふ者を拾ひ上げ、女房はございますが一位の位を頂いた、どうも御運の良い婦人此の一件で、淺野内匠頭殿が無念の御生害を遂げやうな大事が起りました——元祿將軍綱吉公といふ御方の御側役柳澤吉保と申しまして誠に御運の良い婦人で一位といふ位を與いた、露含の院樣並樣子といふ女夫、二位でございまして鎌倉の二位の尼といふ、柳澤吉保は山城國山崎の在生命寺村の八百屋四郎右衛門の娘に生けられた元祿將軍綱吉といふ者を拾ひ上げ、女房はございますが一位の位を頂いた、どうも御運の良い婦人